

2019 年度

歯学部研究年報



明海大学

MEIKAI UNIVERSITY

目 次

	頁
形態機能成育学講座	
解剖学 分野	1
口腔解剖学 分野	4
生理学 分野	5
口腔小児科学 分野	7
歯科矯正学 分野	10
口腔生物再生医工学講座	
生化学 分野	17
微生物 分野	19
歯周病学 分野	20
基礎生物学 分野	25
機能保存回復学講座	
歯科生体材料学 分野	26
歯科補綴学 分野(有床義歯)	28
歯科補綴学 分野(クラウン・ブリッジ)	31
保存治療学 分野	36
オーラル・リハビリテーション学分野	38
摂食嚥下リハビリテーション学分野	42
基礎物理学 分野	44
病態診断治療学講座	
病理学 分野	45
薬理学 分野	48
総合臨床歯科学 分野	50
歯科放射線学 分野	51
口腔顎顔面外科学分野(第1分野)	53
口腔顎顔面外科学分野(第2分野)	56
高齢者歯科学 分野	61
歯科麻酔学 分野	62
歯科法医学 分野	67
社会健康科学講座	
口腔衛生学 分野	70
スポーツ歯学 分野	74
障がい者歯科学 分野	76
基礎数学・統計学 分野	77
総合臨床医学講座	
内科学 分野	78
耳鼻咽喉科学 分野	80
明海大学歯科医学総合研究所	
M-RIO (Meikai University Research Institute of Odontology)	81

形態機能成育学講座

解剖学分野

口腔解剖学分野

生理学分野

口腔小児科学分野

歯科矯正学分野

解剖学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 天野 修: 歯科再生医学のための顎顔面再生生物学・組織学5 唾液腺組織. In: 村上伸也 他編 歯科再生医学, 医歯薬出版, 東京, 2019.4

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Saito K, Okamoto M, Watanabe Y, Noguchi N, Nagasaka A, Nishina Y, Shinoda T, Sakakibara A, Miyata T: Dorsal-to-Ventral Cortical Expansion Is Physically Primed by Ventral Streaming of Early Embryonic Preplate Neurons. *Cell Reports*, 29(6), 1555-1567, 2019.11
- 2) Mizutani Y, Kobayashi H, Iida T, Asai N, Masamune A, Hara A, Esaki N, Ushida K, Mii S, Shiraki Y, Ando K, Weng L, Ishihara S, Ponik SM, Conklin MW, Haga H, Nagasaka A, Miyata T, Matsuyama M, Kobayashi T, Fujii T, Yamada S, Yamaguchi J, Wang T, Woods SL, Worthley D, Shimamura T, Fujishiro M, Hirooka Y, Takahashi M, Enomoto A: Meflin-positive cancer-associated fibroblasts inhibit pancreatic Carcinogenesis. *Cancer Research*, 79(20), 5367-5381, 2019.8
- 3) Hara A, Kobayashi H, Asai N, Shigeyoshi S, Higuchi T, Kato K, Okumura T, Bando YK, Takefuji M, Mizutani Y, Miyai Y, Saito S, Maruyama S, Maeda K, Ouchi N, Nagasaka A, Miyata T, Mii S, Kioka N, Worthley DL, Murohara T, Takahashi M, Enomoto A: Roles of the Mesenchymal Stromal/Stem Cell Marker Meflin in Cardiac Tissue Repair and the Development of Diastolic Dysfunction. *Circulation research*, 125(4), 414-430, 2019.6
- 4) Kawaue T, Shitamukai A, Nagasaka A, Tsunekawa Y, Shinoda T, Saito K, Terada R, Bilgic M, Miyata T, Matsuzaki F, Kawaguchi A: Lzts1 controls both neuronal delamination and outer radial glial-like cell generation during mammalian cerebral development. *Nature Communications*, 10(1), 2780, 2019.6

2. 総説

- 1) 山本将仁, 是澤和人, 小川雄大, 廣内英智, 松永 智, 佐々木穂高, 小高研人, 笠原正彰, 笠原典夫, 崎山浩司, 阿部伸一: インプラント装着後: 身体に現れる加齢変化, 日本口腔インプラント学会誌 (32 巻 3 号、181-188), 2019.9

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Sakiyama K, Nagasaka A, Bando Y, Amano O: Relation of the torus mandibularis and Meckel' s cartilage. 4th Meeting of the International Association for Dental Research Asia Pacific Region, Brisbane, Australia, 2019.11

2. 全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 坂東康彦, 長坂 新, 崎山浩司, 天野 修: 軟骨内骨化における septoclast の由来と役割, 第 61 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 東京, 2019.10

(3) 一般演題

- 1) 崎山浩司, 小笠原悠大, 小野澤豪, 長坂 新, 坂東康彦, 天野 修: 再生筋線維にみられる High mobility group box 1, 第 125 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 山口, 2020.3
- 2) 長坂 新, 崎山浩司, 坂東康彦, 小笠原悠大, 小野澤豪, 天野 修: 胎生期マウスの二次口蓋におけるライブ観察法の確立, 第 125 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 山口, 2020.3
- 3) 小笠原悠大, 崎山浩司, 小野澤豪, 長坂 新, 坂東康彦, 天野 修: 癌浸潤、筋組織再生と High mobility group box 1 (HMGB1) の関係性, 第 125 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 山口, 2020.3
- 4) 崎山浩司, 小笠原悠大, 小野澤豪, 長坂 新, 坂東康彦, 天野 修: 筋における High mobility group box 1(HMGB1)の働き, 第 61 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 東京, 2019.10
- 5) 長坂 新, 崎山浩司, 坂東康彦, 小笠原悠大, 小野澤豪, 天野 修: 胎生期マウスの二次口蓋におけるライブ観察法の確立, 第 61 回歯科基礎医学会全国学術集会, 東京, 2019.10
- 6) 小笠原悠大, 崎山浩司, 小野澤豪, 長坂 新, 坂東康彦, 天野 修: 舌癌と High mobility group box 1 (HMGB1) の関係, 第 61 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 東京, 2019.10
- 7) 坂東康彦, 長坂 新, 崎山浩司, 天野 修: Expression of adipocyte-type and epidermal-type fatty acid binding proteins (A-FABP/FABP4 and E-FABP/FABP5) in septoclasts in the growth plate cartilage of mice. 第 42 回「峠の会」形態学セミナー, 仙台, 2019.8
- 8) 長坂 新, 篠田友靖, 宮田卓樹, 天野 修: 胎生期マウス脳における力学的要因の

関与, 第 42 回「峠の会」形態学セミナー, 仙台, 2019. 8

9) 崎山浩司: High mobility group box 1(HMG1B1)が筋組織へ与える影響, 第 38 回
明海歯科医学会学術大会, 2019. 6

3. 地方会

(3) 一般演題

1) 小笠原悠大, 崎山浩司, 長坂 新, 坂東康彦, 小野澤豪, 天野 修: 筋線維の壊死
および再生におけるHigh Mobility Group Box 1 (HMGB1)の関与, 第107回日本
解剖学会関東支部学術集会, 東京, 2019.11

E. その他の研究会、講演など

1) 崎山浩司: インプラント治療に必要な解剖学, 歯科医師生涯研修(インプラント
ベーシックプログラム 10 日間コース), 浦安, 2019. 5

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

1) 坂東康彦: septoclast の軟骨吸収における異なる脂肪酸結合タンパク発現の意義
学術研究助成基金助成金 若手研究 19K18949

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

1) 崎山浩司: 宮田研究奨励金(A), High mobility group box 1(HMG1B1)が筋組織発生
に与える影響

口腔解剖学

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) ”羽毛田慈之、Victor Jose Flores Kitano, 大山洋子、林田千代美、佐藤卓也、嶋田淳”, ”Low-density lipoprotein の細胞内への取り込みに依存したホスファチジルエタノールアミンの細胞膜外葉への局在変換は破骨細胞の融合過程に関与する.”, 第61回歯科基礎医学会, 2019, 10

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 羽毛田慈之 (研究代表者), 炎症性骨疾患へ LOX-1 の寄与とその分子機構の全容解明そして創薬へのアプローチ, 科学研究費助成事業 基盤研究 (B), 2020, 3
- 2) 羽毛田慈之 (研究分担者), Cdk6 が制御する microRNA の探索による骨代謝機構の解明と再生医療への応用 (研究代表者; 小笠原徹), 科学研究費助成事業 基盤研究 (B), 2020, 3
- 3) 佐藤卓也 (研究代表者), 副甲状腺ホルモンの骨形成促進作用を仲介する骨細胞由来の骨形成促進因子を同定する, 科学研究費助成事業 基盤研究 (C), 2019, 4
- 4) 森芳史 (研究代表者), 関節軟骨の階層構造の形成及び関節軟骨の維持における Rho 調節因子の機能の解析, 科学研究費助成事業 若手研究, 2019, 4
- 5) 林田千代美 (研究代表者), 骨細胞の PTH 応答性を利用した、新たな骨リモデリング調節因子の探索, 科学研究費助成事業 若手研究, 2019, 4
- 6) 林田千代美 (研究分担者), 副甲状腺ホルモンの骨形成促進作用を仲介する骨細胞由来の骨形成促進因子を同定する (研究代表者; 佐藤卓也), 科学研究費助成事業 基盤研究 (C), 2019, 4

生理学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 第 17 章 嗅覚. In: 基礎歯科生理学 (第 7 版). 岩田幸一, 井上富雄, 船橋誠, 加藤隆史 (編), 村本和世, 2020.3, 医歯薬出版, 東京, pp.343-355

B. 学術論文

1. 原著

- 1) "Shino Oikawa, Yuko Kai, Asuka Mano, Shuei Sugama, Naoko Mizoguchi, Masayuki Tsuda, Kazuyo Muramoto, Yoshihiko Kakinume", Potentiating a non-neuronal cardiac cholinergic system reinforces the functional integrity of the blood brain barrier associated with systemic anti-inflammatory responses, *Brain, Behavior, and Immunity*, 81: 122-137. Online publication: DOI: 10.1016/j.bbi.2019.06.005, 2019.6

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) "Yusuke Komine, Naoko Mizoguchi, Hideaki Sakashita, Kazuyo Muramoto", Flavor formation affects the cortical representation of signal processing for odor and taste in mouse (風味形成におけるマウス大脳皮質での味およびニオイ情報処理領域の変化), "Neuro 2019 (第 42 回日本神経科学大会・第 62 回日本神経化学学会大会・合同大会), 朱鷺メッセ (新潟市中央区) 2019.7.25 - 7.28
- 2) 小峰雄介, 溝口尚子, 坂下英明, 村本和世, マウス島皮質の神経活動は味とニオイの連合学習により変化する, 日本味と匂学会第 53 回大会, 高知市文化プラザ かるぽーと (高知県高知市) 2019.9.17 ~ 9.19
- 3) 栗原琴二, マウス唾液腺のマイクロ RNA をバイオマーカーとして用いた視床下部が慢性ストレスに対応するための抗ストレスホルモン誘導時のストレス疲弊期の診断, 第 97 回日本生理学会大会, 別府国際コンベンションセンタービーコンプラザ (大分県別府市) 2020.3.17 ~ 3.19

E. その他の研究会、講演など

- 1) 村本和世, 口の中から考える健康 - 食の味と健康, 城西健康市民大学・講義, 城西大学 (埼玉県坂戸市) 2019.6.15

- 2) 村本和世, 「なぜ人間は (だけ) 料理をするのか?」, チコちゃんに叱られる!, NHK 総合, 2020.1.3 放映, (インタビュー: 2019.10.29 明海大学歯学部 (埼玉県坂戸市))

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 基盤研究 (C): 村本和世 (代表), 脳内相互作用によるフレーバー形成機構の解明 (平成 30 年度~平成 32 年度: 18K06877)

口腔小児科学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 荻原 孝, 3 章 う蝕予防 04 フッ化物の使用法. In: 小児歯科のレベルアップ&ヒント, 田中晃伸, 牧 憲司, 権 暁成編, デンタルダイヤモンド社, 東京, pp32-33, 2019, 6

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 中村昭博, 渡辺泰平, 星野倫範, 渡部茂, 口腔内の異なった部位における唾液 pH の長時間モニタリング, 明海歯科医学誌 (49 巻 1 号), 2020, 2
- 2) Takano C, Kuramochi Y, Seki M, Kim DW, Omagari D, Sasano M, Chang B, Ohnishi M, Kim EJ, Fuwa K, Kilgore PE, Hoshino T, Hayakawa S: Molecular serotype-specific identification of *Streptococcus pneumoniae* using loop-mediated isothermal amplification. Sci Rep 9(1), 19823, 2019
- 3) Imai K, Nemoto R, Kodana M, Tarumoto N, Sakai J, Kawamura T, Ikebuchi K, Mitsutake K, Murakami T, Maesaki S, Fujiwara T, Hayakawa S, Hoshino T, Seki M, Maeda T: Rapid and Accurate Species Identification of Mitis Group Streptococci Using the MinION Nanopore Sequencer. Front Cell Infect Microbiol 10, 11, 2020
- 4) Dong Wook Kim, 関みつ子, 早川 智. LAMP 法を用いた Guiana extended-spectrum (GES) 型 メタロ β -ラクタマーゼ遺伝子検出法の開発. 日本大学医学部総合医学研究所紀要 7, 36 - 38, 2019

D. 学会発表

1. 国際学会

(2) シンポジウム

- 1) Seki M: A novel loop-mediated isothermal amplification method detecting the Guiana extended-spectrum (GES) type β -lactamase gene of *Pseudomonas aeruginosa*. 2019 International Conference of the Korean Society for Molecular and Cellular Biology, Seoul, Korea, September 2019

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 笹野まり, 関みつ子, 高野智圭, 早川智. LAMP 法による β -lactamase 遺伝子

- (OXA-48) 検出 —グラム陰性菌臨床分離株への応用—. 第 93 回日本感染症学会
総会・学術講演会. 2019, 4
- 2) 高野智圭, 関みつ子, 早川智. LAMP 法による β -lactamase 遺伝子(GES)検出
2 -GES 型カルバペネマーゼ遺伝子の検出-. 第 93 回日本感染症学会総会・学術
講演会 2019, 4
 - 3) 関みつ子, 高野智圭, 笹野まり, 常彬, 大西真, 早川智. LAMP 法による肺炎球菌
莢膜型の同定 2. 第 93 回日本感染症学会総会・学術講演会, 2019, 4
 - 4) 渡辺泰平, 中村昭博, 荻原 孝, 星野倫範, 睡眠中の口腔内 pH と齲蝕経験歯数の
関連, 第 57 回日本小児歯科学会大会, 北海道, 2019, 6
 - 5) 関みつ子, 高野智圭, 蔵持陽子, 星野倫範, 早川 智. Serotype specific
identification of *S. pneumoniae* using the LAMP method. 第 51 回レンサ球菌
研究会, 京都 2019, 6
 - 6) 伊賀上洋輔, 荻原 孝, 池田英史, 星野倫範, 混合歯列期で BP 製剤が投与されて
いる小児に乳歯抜歯を行った 1 例, 第 31 回日本小児口腔外科学会学術大会,
石川, 2019, 11
 - 7) Seki M, Takano C, Kim EJ, Yoon YB, Lee DH, Lee J, Baek YJ, Hayakawa S, Hoshino
T. A novel LAMP method detecting β -lactamase genes, 第 48 回薬剤耐性菌
研究会 2019, 11
 - 8) 渡辺泰平, ヒト口腔内 pH の睡眠中の変化と齲蝕との関連性, 明海歯科医学
会, 2020, 2
 - 9) 吉田美香子, 上顎左側犬歯の牽引誘導を行った 1 例, 第 37 回顎咬合学会, 東京,
2019, 6
 - 10) 吉田美香子, 女ヶ沢美貴, 星野倫範, 両側唇顎裂患児に対して長期的に口腔
管理を行った 1 例, 第 36 回日本障害者歯科学会, 岐阜, 2019, 11

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 伊賀上洋輔, 佐藤智之, 巢瀬賢一, 荻原 孝, 駒澤大悟, 星野倫範, 混合歯列期で
BP 製剤が投与されている小児に乳歯抜歯を行った 1 例, 日本小児歯科学会第 34 回
関東地方会大会, 東京, 2019, 9
- 2) 中村昭博, 諸星孝夫, 三木崇裕, 大橋英夫, 高本千聖, 平井美帆, 星野倫範, 当院
小児歯科外来における正中過剰歯の臨床統計学的検討, 第 34 回日本小児歯科学会
大会 関東地方会 東京, 2019, 9
- 3) 吉田美香子, 中村昭博, 駒澤大悟, 荻原 孝, 関みつ子, 星野倫範, 本学に
おける予防処置について, 日本小児歯科学会第 34 回関東地方会大会, 東京, 2019, 9
- 4) 関みつ子, 高野智圭, 蔵持陽子, 星野倫範, 早川 智. LAMP 法を用いた肺炎球菌

E. その他の研究会、講演など

- 1) Seki M (招待講演), Introduction of the GReAT project, Institute of Health and Environment, School of Public Health, Seoul National University, Seoul, Korea, May 2019
- 2) Seki M (招待講演) Genome Research for Asian Tuberculosis (GReAT) project, Department of Biomedicine, Aarhus University, Aarhus, Denmark, August 2019
- 3) 吉田美香子, 子どもの口のけが! その時どうする? その後どうなる?, 岡山県支部会春季学術研修会, 岡山, 2019, 4

F. 研究助成金等の受入れ

2. その他の公的機関からの助成金

- 1) 関みつ子, 日本学術振興会 二国間交流事業共同研究 韓国との共同研究 (NRF), Identification of the standard strain of *M. tuberculosis* in Asian region.

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 関みつ子, 明海大学 2019 年度 宮田研究奨励金 (A), メタロβ-ラクタマーゼ遺伝子を有する多剤耐性菌簡易検出法の開発

歯科矯正学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 須田直人. 明海大学歯科矯正学分野, 歯科矯正アンカースクリューを用いた歯科矯正治療アトラス. 植木和弘 監修, 株式会社プロシード. 158, 2019年11月
- 2) 須田直人. 歯列と咬合の成長発育・加齢変化. 歯科矯正学 第6版. 飯田順一郎ほか (編), 43-57, 医歯薬出版. 2019年1月.
- 3) 大塚雄一郎, 須田直人. 歯科矯正用アンカースクリューの植立位置に配慮し埋伏下顎右側第二大臼歯を効率的に整直した Angle II級ハイアングル症例. 歯科矯正アンカースクリューを用いた歯科矯正治療アトラス. 植木和弘 監修, 株式会社プロシード. 159-167, 2019年11月
- 4) 佐々木会, 須田直人. 上顎左側臼歯の近心移動を図った上顎両側犬歯の先天性欠如を伴う Angle Class II subdivision 症例. 歯科矯正アンカースクリューを用いた歯科矯正治療アトラス. 植木和弘 監修, 株式会社プロシード. 168-174, 2019年11月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Kenjiro Bandow, Hiroya Hasegawa, Mineko Tomomura, Akito Tomomura. Caldecrin inhibits lipopolysaccharide-induced pro-inflammatory cytokines and M1 macrophage polarization through the immunoreceptor triggering receptor expressed in myeloid cells-2. Biochemical and biophysical research communications, 523(4), 1027-1033. 2020
- 2) 川尻朱美, 佐々木会, 上里忠成, 東金由莉, 浅香幸子, 山口浩司, 須田直人. 頭蓋冠形態と下顎窩の位置の三次元解析(第一報) 非対称のない骨格性下顎前突症例を用いた検討. 日本顎変形学会雑誌. 29, 1:31-41. 2019
- 3) 東金由莉, 佐々木会, 大塚雄一郎, 上里忠成, 川尻朱美, 山口浩司, 園川拓哉, 小澤智宣, 虻川東嗣, 高橋伸年, 鬼頭慎司, 嶋田淳, 須田直人. Short lingual osteotomy を施行した骨格性下顎前突症例における術後安定性と内側翼突筋の三次元評価. 日本顎変形学会雑誌. 29, 4:269-279. 2019
- 4) 土肥 洋介, 大塚雄一郎, 有川 秀一, 須田 直人. 下顎骨の海綿骨の弾性挙動解析. 明海歯科医学. 48, 2:35-42. 2019
- 5) 長谷川紘也, 真野樹子, 野尻尚子, 土屋隆子, 藤本舞, 藤本航大, 須田直人. 術前顎矯正治療における光学印象の試み(第三報) -撮影時の専用パウダー噴霧の影響と両側性唇顎裂児への口蓋床の装着-, "Orthodontic Waves -

2. 総説

- 1) 須田直人. 歯科矯正. ダウン症の医療管理. 小児内科 51(6), 847-849, 2019

3. 症例報告

- 1) 大貫那未, 佐々木会, 須田直人. 上顎中切歯の抜去と切歯乳頭を切除した一例. 東京矯正歯科学会雑誌, 29, 2 : 115-120, 2019.
- 2) 長谷川 尚哉, 真野樹子, 須田直人. ニッケルアレルギーを有し上下顎歯列の狭窄に伴う上顎前歯重度叢生症例の1例. 明海歯科医学. 48, 2 : 57-65, 2019
- 3) 権田秋華, 真野樹子, 須田直人. 思春期成長後期に上顎歯列の側方拡大と下顎骨の成長促進を行った Angle II 級 I 類症例. 東京矯正歯科学会雑誌. 29, 2 : 121-26. 2019
- 4) Fujimoto M, Otsuka Y, Suda N. Orthodontic intervention to a patient injured in a traffic accident. Orthodontic Wave 78 (1), 39-48, 2019.

D. 学会発表

1. 国際学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) Suda N. Irregular alignment in orthodontic treatment. 7th Meeting of Mongolian Association of Orthodontists, 24-25 August 2019, Ulaanbaatar, Mongol.
- 2) Suda N. Early alveolar cleft closure using human umbilical cord mesenchymal stem cells in experimental model. The 13th World Congress of The International Cleft Lip and Palate Foundation, July 26-29, Nagoya, Japan.

(2) シンポジウム

- 1) Suda N. Vertical correction in short face cases with cleft lip and palate. The 58th Congress of the Korean Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeons. Oct 31-Nov 02 2019, Busan port international Passenger Terminal, Busan, Korea

(3) 一般演題

- 1) Misato Yugawa, Takako Tsuchiya, Naoya Hasegawa, Au Sasaki, Naoto Suda and Kazunori Adachi. Alteration of satellite glial GFAP expression by laser irradiation in experimental tooth movement model. Society for Neuroscience.

2019.10.19-23, Chicago, USA

- 2) Otsuka Y, Suda N. Three-dimensional evaluation of nasal morphology in a patient undergone subspinal Le Fort I osteotomy. 第 58 回大韓顎顔面成形再建外科学会 (KAMPRS) . 2019 年 10 月 31 日-11 月 1 日, 韓国, 釜山
- 3) Teruo Sakamoto, Mari Okayasu, Au Sasaki, Takashi Tsuchimochi, Ryo Nagahama, Suguru Kondou, Yuri Yamamoto Oonishi, Hiroki Mori, Tadashi Morishita, Issei Takahashi, Takenobu Ishii, Haruyo Miyazaki, Naoto Suda, Takafumi Susami, Isao Saito. Survey of orthodontic and surgical treatment in team care for patients with Hemifacial microsomia. Asian pacific cleft lip-palate & craniofacial congress. 2019.11.11-12. Khon kaen
- 4) Akiko Toyota. Basic study for early alveolar cleft closure by regenerative approach using human umbilical cord mesenchymal stem cells. TAO annual meeting 2019 (TAO 8th Resident meeting). 2019 Dec 6-8, Taichung Taiwan.

2. 全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 真野樹子. 口唇裂・口蓋裂治療におけるエビデンスの在り方を考える一矯正歯科医の視点からー「口唇裂・口蓋裂治療における非都市型医科歯科連携」. 第 43 回日本口蓋裂学会総会・学術集会. 2019 年 5 月 30 日-31 日, 新潟
- 2) 大塚雄一郎. 「アンカースクリューによる開咬の改善とその留意点」アンカースクリューを用いた上顎臼歯セグメント圧下のバイオメカニクス. 第 2 回歯科矯正用アンカースクリュー研究会学術大会、2019 年 9 月 29 日, 千葉

(3) 一般演題

- 1) 坂本輝雄, 岡安麻里, 佐々木会, 鷲尾紗裕理, 長濱諒, 近藤俊, 大西有理, 森浩喜, 森下格, 高橋一誠, 石井武展, 宮崎晴代, 須田直人, 須佐美隆史, 齋藤功. Hemifacial microsomia 患者に対するチーム医療の実態調査. 第 43 回口蓋裂学会総会・学術大会, 2019 年 5 月 29-30 日, 新潟
- 2) 鈴木大喜, 李美乃, 品川令, 藤本舞, 長谷川紘也, 真野樹子. 須田直人. 明海大学病院矯正歯科における過去 20 年間の口唇裂・口蓋裂患者の臨床統計的検討. 第 43 回口蓋裂学会総会・学術大会, 2019 年 5 月 29-30 日, 新潟
- 3) 藤本舞, 佐々木会, 品川令, 真野樹子, 坂下英明, 須田直人. Le Fort I 型骨切り術単独により上顎骨の前下方移動と yawing の改善を図った UCLP の 1 例. 第 43 回口蓋裂学会総会・学術大会, 2019 年 5 月 29-30 日, 新潟
- 4) 丹原惇, 内野夏子, 吉田章太, 朝日藤寿一, 石渡靖夫, 岩田敏男, 金高弘恭, 佐藤友紀, 谷川千尋, 中納治久, 春山直人, 真野樹子, 渡邊佳一郎, 齋藤功.

- 矯正歯科領域の口唇裂・口蓋裂治療に関する資料採得の実態調査 —第 1 報
資料採得環境について—。第 43 回日本口蓋裂学会総会・学術集会。2019 年
5 月 30-31 日，新潟
- 5) 内野夏子，丹原惇，吉田章太，朝日藤寿一，石渡靖夫，岩田敏男，金高弘恭，
佐藤友紀，谷川千尋，中納治久，春山直人，真野樹子，渡邊佳一郎，齋藤功。
矯正歯科領域の口唇裂・口蓋裂治療に関する資料採得の実態調査 —第 2 報
資料採得時期について—。第 43 回日本口蓋裂学会総会・学術集会。2019 年 5 月
30-31 日，新潟
- 6) 吉田章太，丹原惇，内野夏子，朝日藤寿一，石渡靖夫，岩田敏男，金高弘恭，
佐藤友紀，谷川千尋，中納治久，春山直人，真野樹子，渡邊佳一郎，齋藤功。
矯正歯科領域の口唇裂・口蓋裂治療に関する資料採得の実態調査 —第 3 報
共通プロトコール策定への意見—。第 43 回日本口蓋裂学会総会・学術集会。
2019 年 5 月 30-31 日，新潟
- 7) 大塚雄一郎，箕田碧，豊田亜希子，虻川東嗣，嶋田淳，須田直人。Subspinal
Le Fort I 型骨切り術を併用した上下顎移動術施行例における術後鼻形態の三次
元評価。第 29 回日本顎変形症学会学術大会。2019 年 6 月 8-9 日，東京
- 8) 東金由莉，佐々木会，上里忠成，山口浩司，箕田碧，大塚雄一郎，園川拓哉，
虻川東嗣，嶋田淳，須田直人。下顎枝の側方傾斜の改善を図った顔面非対称の 1 例
内側翼突筋と咬筋の三次元構築による術後安定性の考察。第 29 回日本顎変形学
会総会・学術大会。2019 年 6 月 8-9 日，東京。
- 9) 山口浩司，佐々木会，川尻朱美，上里忠成，東金由莉，須田直人。頭蓋冠形態と
下顎窩の位置の三次元解析(第二報) 顔面非対称の骨格性下顎前突症例を用いた
検討。第 29 回日本顎変形学会総会・学術大会。2019 年 6 月 8-9 日，東京。
- 10) 湯川未郷、土屋隆子、長谷川尚哉、佐々木会、須田直人、安達一典。矯正力の
負荷によって引き起こされる三叉神経節の興奮性。第 140 回 日本薬理学会関東
部会。2019 年 7 月 6 日，東京
- 11) 大島隆史，大塚雄一郎，箕田碧，須田直人。咀嚼筋の三次元画像構築における
半自動化の試み。第 78 回東京矯正歯科学会大会。2019 年 7 月 11 日，東京
- 12) 藤本舞，佐々木会，大貫那未，須田直人。歯科矯正用アンカースクリュー
を用いて上顎白歯の圧下と遠心移動を行い、顎矯正手術を回避した dual bite
の骨格性下顎後退症例。第 2 回歯科矯正用アンカースクリュー研究会 学術大会。
2019 年 9 月 29 日，千葉。
- 13) 大塚雄一郎，大島隆史，箕田碧，須田直人。4 つの咀嚼筋の情報を付加した顎
矯正手術三次元シミュレーション。第 78 回日本矯正歯科学会学術大会。2019 年
11 月 20 -22 日，長崎
- 14) 坂本輝雄，岡安麻里，佐々木会，土持宇，長濱諒，近藤俊，大西有理，森浩喜，

- 森下格, 石井武展, 宮崎晴代, 須田直人, 須佐美隆史, 齋藤功. Hemifacial microsomia 患者に対するチーム医療における矯正治療の実態調査. 第 78 回日本矯正歯科学会学術大会. 2019 年 11 月 20-22 日, 長崎
- 15) 佐々木会, 藤本舞, 藤本航大, 大塚雄一郎, 須田直人. 包括的歯科治療を行った著しい狭窄歯列の過蓋咬合症例. 第 78 回日本矯正歯科学会学術大会. 2019 年 11 月 20-22 日, 長崎.
 - 16) 湯川未郷, 土屋隆子, 長谷川尚哉, 佐々木会, 安達一典, 須田直人. 三叉神経節サテライトグリアの GFAP 活性に対する矯正治療の影響. 第 78 回日本矯正歯科学会学術大会. 2019 年 11 月 20-22 日, 長崎.
 - 17) 藤本航大, 佐々木会, 川尻朱美, 山口浩司, 上里忠成, 東金由莉, 大塚雄一郎, 須田直人. 下顎窩の三次元的位置と下顎骨体長の関連性. 第 78 回日本矯正歯科学会学術大会. 2019 年 11 月 20-22 日, 長崎.
 - 18) 山口浩司, 佐々木会, 川尻朱美, 藤本航大, 上里忠成, 東金由莉, 須田直人. 顔面非対称を伴う骨格性下顎前突症例における頭蓋冠形態と下顎窩の位置の三次元解析. 第 78 回日本矯正歯科学会学術大会. 2019 年 11 月 20-22 日, 長崎.
 - 19) 鈴木大喜, 品川令, 藤本舞, 長谷川紘也, 真野樹子, 須田直人. 明海大学病院矯正歯科における 1999 年以降の口唇裂・口蓋裂患者の臨床統計. 第 78 回日本矯正歯科学会学術大会. 2019 年 11 月 20-22 日, 長崎.
 - 20) 長谷川紘也, 真野樹子, 野尻尚子, 土屋隆子, 須田直人. 術前顎矯正における口腔内スキャナーの成績比較. 第 78 回日本矯正歯科学会学術大会. 2019 年 11 月 20-22 日, 長崎.
 - 21) 中納治久, 立木千恵, 佐藤琢麻, 辻美千子, 真野樹子, 箕浦雄介, 小川清史, 野村泰世, 曾矢猛美, 小塩裕, 宮澤健, 清水典佳, 森山啓司. 埋伏歯の開窓・牽引・矯正治療に関する実態調査. 第 78 回日本矯正歯科学会学術大会. 2019 年 11 月 20-22 日, 長崎.

E. その他の研究会, 講演など

- 1) 真野樹子. 軟骨無形成症の頭蓋顎顔面骨格のかたちと歯科的対応 軟骨無形成症つくしの会 第 37 回全国総会 (国立オリンピック記念青少年総合センター). 2019 年 5 月 19 日, 東京
- 2) Suda N. Treatment objectives and planning for oligodontia cases. Seminar for residents in Orthodontics Department of Mongolian National University of Medical Sciences, Aug23, 2019, Ulaanbatar, Mongol.
- 3) Suda N. Cases treated by TADs. Seminar for Residents in Orthodontics Department of Mongolian National University of Medical Sciences, Aug23, 2019, Ulaanbatar, Mongol.

- 4) 真野樹子. 小耳症に関連した歯科矯正治療 イヤーフレンド (小耳症の会) (横浜市立大学附属病院). 2019年10月20日, 横浜
- 5) 須田直人. 歯の萌出と歯帯管. Dentistry, Quo Vadis?, 2019年12月14日, 東京
- 6) 須田直人. 歯科臨床における歯の萌出方向とその異常. Dentistry, Quo Vadis?, 2019年12月15日, 東京.

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 須田直人, 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), (18K09843) 矯正治療による歯の移動時の疼痛に対する抹消と中枢からのアプローチ, 2018年4月~2021年3月, 総額4,420千円
- 2) 佐々木会, 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 独立行政法人日本学術振興会, 矯正痛の発現機構解明と制御方法の探索. 2019年度~2021年度, 総額3,770千円
- 3) 品川令, 学術研究助成基金助成金 若手研究 (19K19301) ヒト臍帯由来間葉系幹細胞を用いた早期顎裂閉鎖に向けた基礎研究, 2019年4月~2021年3月, 総額4,160千円

2. 日本私立学校振興・共済事業団

- 1) 藤本舞, 2019年度日本私立学校振興・共済事業団 若手研究者奨励金, 術前顎矯正に関する因子の検討と光学印象法の確立に関する研究, 400千円
- 2) 品川令, 2019年度日本私立学校振興・共済事業団 女性研究者奨励金, 臍帯由来幹細胞を用いた再生医学的アプローチ. 400千円

3. 宮田研究奨励金(A)および(E)

- 1) 大塚雄一郎, 2019年度宮田研究奨励金A, 顎顔面三次元シミュレーションモデルにおける内側翼突筋自動抽出システムの開発, 980千円
- 2) 長谷川紘也, 2019年度宮田研究奨励金A, 骨代謝における遺伝子治療薬について, 1,000千円
- 3) 湯川未郷, 2019年度宮田研究奨励金E, 歯の移動に伴う疼痛の発現・緩和機構の解明, 300千円

受賞

- 1) 山口浩司, 佐々木会, 川尻朱美, 上里忠成, 東金由莉, 須田直人. 頭蓋冠形態と下顎窩の位置の三次元解析(第二報) 顔面非対称の骨格性下顎前突症例を用いた検討. 第29回日本顎変形学会総会・学術大会. 2019年6月8-9日, 東京.

(優秀ポスター賞)

- 2) 藤本舞, 佐々木会, 大貫那未, 須田直人. 歯科矯正用アンカースクリューを用いて上顎臼歯の圧下と遠心移動を行い、顎矯正手術を回避した dual bite の骨格性下顎後退症例. 第2回歯科矯正用アンカースクリュー研究会 学術大会. 2019年9月29日, 千葉. (優秀ポスター賞)
- 3) Mano M, Ishiwata Y, Asahito T, Sakamoto T, Morishita T, Yamamoto- Oonishi Y, Iwata T, Suda N, Susami T, Saito I. A Collaborative Survey on Occlusion after Orthodontic Treatment in Patients with Unilateral Cleft Lip and Palate in Japan” (Orthodontic Waves, 77 (2), 101-110, 2018). 第78回日本矯正歯科学会学術大会 2019年11月20-22日,長崎 (論文賞)
- 4) 大塚雄一郎, 大島隆史, 箕田碧, 須田直人. 4つの咀嚼筋の情報を付加した顎矯正手術三次元シミュレーション. 第78回日本矯正歯科学会学術大会. 2019年11月20-22日,長崎 (優秀発表賞)
- 5) 佐々木会, 藤本舞, 藤本航大, 大塚雄一郎, 須田直人. 包括的歯科治療を行った著しい狭窄歯列の過蓋咬合症例. 第78回日本矯正歯科学会学術大会. 2019年11月20-22日,長崎. (優秀発表賞)
- 6) 藤本航大, 佐々木会, 川尻朱美, 山口浩司, 上里忠成, 東金由莉, 大塚雄一郎, 須田直人. 下顎窩の三次元的位置と下顎骨体長の関連性. 第78回日本矯正歯科学会学術大会. 2019年11月20-22日,長崎. (優秀発表賞)

口腔生物再生医工学講座

生 化 学 分 野

微 生 物 学 分 野

歯 周 病 学 分 野

基 礎 生 物 学 分 野

生化学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Bandow K, Hasegawa H, Tomomura M, Tomomura A. Caldecrin inhibits lipopolysaccharide-induced pro-inflammatory cytokines and M1 macrophage polarization through the immunoreceptor triggering receptor expressed in myeloid cells-2. *Biochem Biophys Res Commun.* 2020; 523(4): 1027-1033.
- 2) Takao K, Hoshi K, Sakagami H, Shi H, Bandow K, Nagai J, Uesawa Y, Tomomura A, Tomomura M, Sugita Y. Further Quantitative Structure-Cytotoxicity Relationship Analysis of 3-Styrylchromones. *Anticancer Res.* 2020; 41(1): 87-95.
- 3) Iijima Y, Bandow K, Sano M, Hino S, Kaneko T, Horie N, Sakagami H. In Vitro Assessment of Antitumor Potential and Combination Effect of Classical and Molecular-targeted Anticancer Drugs. *Anticancer Res.* 2019; 39(12): 6673-6684.
- 4) Uesawa Y, Nagai J, Shi H, Sakagami H, Bandow K, Tomomura A, Tomomura M, Endo S, Takao K, Sugita Y. Quantitative Structure-Cytotoxicity Relationship of 2-Styrylchromones. *Anticancer Res.* 2019; 39(12): 6489-6498.
- 5) Nagai J, Shi H, Sezaki N, Yoshida N, Bandow K, Uesawa Y, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A, Takao K, Sugita Y. Quantitative Structure-Cytotoxicity Relationship of 2-Arylazolylchromones and 2-Triazolylchromones. *Anticancer Res.* 2019; 39(12): 6479-6488.
- 6) Kusuyama J, Bandow K, Ohnishi T, Amir MS, Shima K, Semba I, Matsuguchi T. CXCL13 is a differentiation- and hypoxia-induced adipocytokine that exacerbates the inflammatory phenotype of adipocytes through PHLPP1 induction. *Biochem J.* 2019; 476(22): 3533-3548.
- 7) Tugrak M, Gul HI, Bandow K, Sakagami H, Gulcin I, Ozkay Y, Supuran CT. Synthesis and biological evaluation of some new mono Mannich bases with piperazines as possible anticancer agents and carbonic anhydrase inhibitors. *Bioorg Chem.* 2019; 90: 103095.
- 8) Imanari K, Hashimoto M, Wakabayashi H, Okudaira N, Bandow K, Nagai J, Tomomura M, Tomomura A, Uesawa Y, Sakagami H. Quantitative Structure-Cytotoxicity Relationship of Azulene Amide Derivatives. *Anticancer Res.* 2019; 39(7): 3507-3518.
- 9) Kusuyama J, Seong C, Makarewicz NS, Ohnishi T, Shima K, Semba I, Bandow K,

Matsuguchi T. Low intensity pulsed ultrasound (LIPUS) maintains osteogenic potency by the increased expression and stability of Nanog through spleen tyrosine kinase (Syk) activation. Cell Signal. 2019; 62: 109345.

- 10) Kusuyama J, Amir MS, Albertson BG, Bandow K, Ohnishi T, Nakamura T, Noguchi K, Shima K, Semba I, Matsuguchi T. JNK inactivation suppresses osteogenic differentiation, but robustly induces osteopontin expression in osteoblasts through the induction of inhibitor of DNA binding 4 (Id4). FASEB J. 2019; 33(6): 7331-7347.

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 飯島 洋介, 坂東 健二郎, 友村 明人, 山田 美喜, 日野 峻輔, 金子 貴広, 堀江 憲夫, 坂上 宏. セツキシマブのヒト口腔扁平上皮がん細胞、ケラチノサイトに対する選択毒性の評価. 第61回歯科基礎医学会学術大会. 東京, 2019, 10

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 永井 純子, 史 海霞, 瀬崎 夏子, 吉田 奈央, 坂東 健二郎, 植沢 芳広, 坂上 宏, 友村 美根子, 友村 明人, 高尾 浩一, 杉田 義昭. 2-Arylazolylchromones と 2-Triazolylchromones の定量的構造 - 細胞傷害性相関解析. 第141回日本薬理学会関東部会. 東京, 2019, 10
- 2) 植沢 芳広, 永井 純子, 史 海霞, 坂上 宏, 友村 美根子, 友村 明人, 坂東 健二郎, 遠藤 早紀, 高尾 浩一, 杉田 義昭. 2-スチリルクロモン誘導体の定量的構造 - 細胞傷害性相関解析. 第141回日本薬理学会関東部会. 東京, 2019, 10
- 3) 坂上 宏, 中谷 儀一郎, 小川 由香里, 白戸 亮吉, 上田 大輔, 延澤 忠真, 中谷 祥恵, 古旗 賢二, 松田 玲於奈, 田村 暢章, 刀裨 重信, 坂東 健二郎, 友村 美根子, 友村 明人, 竹島 浩, 鬼頭 慎司. X線照射誘発性PC12神経細胞傷害に及ぼすNGFの保護効果. 第141回日本薬理学会関東部会. 東京, 2019, 10

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 坂東 健二郎 (研究代表者, 基盤研究(C)), 免疫受容体 TREM2 に着目した炎症性骨破壊のメカニズム解析と治療戦略の検討 (研究期間 2019 - 2021)

微生物学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 大森喜弘、天野滋、廣井美紀、山口花： 2019 年度 感染免疫制御学 実習 (第 4 版), DTP 出版, 東京, 2019, 6 月

C. その他の刊行物など

- 1) 山口花： マウス舌癌モデルにおける癌免疫編集機構によるインターフェロン耐性獲得機構. 科学研究費助成事業 研究成果報告書. 東京, 2019 年 6 月.

D. 学会発表

(3) 一般演題

- 1) 山口 花、森 一将、廣井美紀、松本安吏、嶋田 淳、大森喜弘： 4-nitroquinoline 1-oxide 誘発マウス舌癌における T 細胞および NK 細胞の抗腫瘍作用, 第 61 回 歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2019 年 10 月
- 2) 森 一将、廣井美紀、松本安吏、嶋田 淳、大森喜弘： マウス腫瘍モデルにおけるインターフェロン誘導性ケモカインの抗腫活性, 第 61 回 歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2019 年 10 月
- 3) 森 一将、廣井美紀、松本安吏、嶋田 淳、大森喜弘： 口腔癌におけるインターフェロン誘導性ケモカインの抗腫瘍作用, 第 64 回日本口腔外科学会総会, 札幌, 2019 年 10 月

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 大森喜弘 (研究代表者)： 口腔癌のインターフェロン耐性機構の解明とエピゲノム併用療法の有効性の検討.
- 2) 大森喜弘(研究分担者)： 基盤研究 C, 脂肪酸合成を標的とした口腔癌の増殖・進展メカニズムの解析
- 3) 廣井美紀 (研究分担者)： 基盤研究 C, 前癌病変および扁平上皮癌における腫瘍関連マクロファージの分化誘導機構と機能解析.

歯周病学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 申 基喆/編, 辰巳順一, 林 丈一郎, 谷田部一大、大塚秀春, 石井麻紀子, 鈴木允文, 林 鋼兵/著, 歯周病診断と治療マニュアル 第4版, 美和野印刷, 東京, 2019.10
- 2) 申 基喆, 24章 歯周形成手術, 臨床歯周病学 第3版, P.257-266, 医歯薬出版, 東京, 2020.2
- 3) 申 基喆, 28章 歯周-矯正治療, 臨床歯周病学 第3版, P.289-293, 医歯薬出版, 東京, 2020.2
- 4) 申 基喆, 林 丈一郎, 29章 インプラント治療, 臨床歯周病学 第3版, P.296-308, 医歯薬出版, 東京, 2020.2
- 5) 申 基喆, 辰巳順一, 34章 包括的歯周治療, 臨床歯周病学 第3版, P.345-342, 医歯薬出版, 東京, 2020.2
- 6) 申 基喆, 村上伸也, 斎藤 淳, 山田 聡 編著, 臨床歯周病学 第3版, 医歯薬出版, 東京, 2020.2

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 小玉治樹, 林 丈一郎, 杉山雄一郎, 脇田由貴, 竹谷佳将, 夏堀壮一郎, 林 鋼兵, 鈴木允文, 石井麻紀子, 大塚秀春, 辰巳順一, 申 基喆, 歯周病患者におけるインプラント周囲のプロービング時の出血に関する臨床的研究, 明海歯科医学, 48 (2), 43-51, 2019.2
- 2) Carvalho Vasconcelos R, Ferreira C, de Araújo EM, Motta F, Bomio M, de Araújo Júnior RF, Paiva DFF, Pirih FQ, da Silva JSP, Chan AB, Cruz LJ, Ishii M, de Medeiros CACX, Coelho Bernardo Guerra G and de Araújo AA, Zirconia/hydroxyapatite (80/20) scaffold repair in critical size calvarial defect increased FGF-2, osteocalcin and OPG immunostaining and IL-10 levels”, Am J Transl Res, 12 (6): 2439-2450, 2020. 1
- 3) 歯周病と関節リウマチおよびEBV陽性粘膜皮膚潰瘍との関係, 草間 薫, 金田 朋久, 星野 都, 西村学子, 菊池健太郎, 坂下英明, 申 基喆, 日本有病者歯科医療学会雑誌, 28(5), 271-276, 2019.11

2. 総説

- 1) 渡辺和志, 歯科医師臨床研修歯科医講習会, 日本歯科医師会雑誌 72(1) 54, 2019.4

3. 症例報告

- 1) Joichiro Hayashi, Kitetsu Shin, Implant site development by orthodontic extrusion and buccal root torque at a site showing severe gingival recession with periodontitis: A case report, *The International Journal of Periodontics & Restorative Dentistry*, 39 (4), 589-594, 2019. 7
- 2) 草間 淳, 松田 哲, 小澤万純, 齋藤大嵩, 長谷川陽子, 嶋田 淳, 歯槽骨内に深く埋入, 長期間放置されたインプラント体除去にコンピューターガイドドサージェリーを応用した1症例, *日本口腔インプラント学会誌*, 第33巻 第1号 52-58, 2020. 3

C. その他の刊行物など

- 1) 辰巳順一, 海外ジャーナル *Watching 歯周疾患・インプラント周囲疾患の分類, デンタル・ダイヤモンド* 第44巻第5号, 109, 2019.4

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Ishii M, Hiyari S, Lari S, Galvan M, Shin K, Tetradis S, Camargo PM, Lee M and Pirih FQ, Local Delivery of CXCR3 Antagonist Decreases The Progression of Periodontitis, 97th General Session & Exhibition of the IADR, Vancouver, BC, Canada”, 2019.6
- 2) Sani ES, Yaghseizian A, Cao Z, Ishii M, Zandi N, Intini G, Pirih F and Annabi N, Bioadhesive Hydrogels with Antimicrobial and Osteoinductive Properties for Periodontal Applications 2019 AIChE Annual Meeting, Orland, FL, 2019.11

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 辰巳順一, 上田隼也, 安井絢子, 竹谷佳将, 鈴木允文, 申 基喆, インプラント-アバットメント接合部封鎖性に及ぼす水平荷重の影響 第4報 材質の異なるアバットメントによる比較, 第62回春季日本歯周病学会学術大会, 横浜, 2019.5
- 2) 吉川佳織, 林 鋼兵, 竹ノ谷 淳, 脇田有貴, 辰巳順一, 申 基喆, 抗菌光線力学療法の歯周病原細菌に対する殺菌能についての比較検討, 第62回春季日本歯周病学会学術大会, 横浜, 2019. 5
- 3) 小玉治樹, 林 丈一郎, 杉山雄一郎, 新家央康, 夏堀壮一郎, 山村加奈子,

- 大塚秀春, 申 基喆, 歯周病患者におけるインプラント周囲疾患に関する臨床研究第3報 : インプラント周囲のBOPに影響を及ぼす因子について, 第62回春季日本歯周病学会学術大会, 横浜, 2019. 5
- 4) 竹谷佳将, 歯周炎におけるメカニカルストレスを介した骨吸収に対する TRPV4 の役割, 明海歯科医学会第38回学術大会, 坂戸, 2019. 6
 - 5) 夏堀壮一郎, 歯槽堤保存術における創閉鎖の有無が治癒に与える影響, 明海歯科医学会第38回学術大会, 坂戸, 2019. 6
 - 6) 上田隼也, 繰り返し過重負荷がインプラント-アバットメント接合部封鎖性に与える影響, 明海歯科医学会第38回学術大会, 坂戸, 2019.6
 - 7) 吉川佳織, 抗菌光線力学療法を用いたインプラント体表面の除染方法の基礎的検討, 明海歯科医学会第38回学術大会, 坂戸, 2019.6
 - 8) 中島明敏, 遊離歯肉移植術後の口腔関連 QOL と疼痛の定量的評価, 明海歯科医学会第38回学術大会, 坂戸, 2019. 6
 - 9) 鈴木允文, 咬合性外傷を伴う慢性歯周炎に起こる歯槽骨吸収の分子メカニズムを探る, 明海歯科医学会第38回学術大会, 坂戸, 2019. 6
 - 10) 脇田有貴, 辰巳順一, 竹ノ谷 淳, 吉川佳織, 夏堀壮一郎, 三宅唯夫, 林 鋼兵, 大塚秀春, 申 基喆, 歯周炎の進行に伴う咀嚼能力の変化, 第63回秋季日本歯周病学会学術大会, 北九州, 2019. 10
 - 11) 竹谷佳将, 鈴木允文, 内沼真吹, 杉山雄一郎, 上田隼也, 林 丈一朗, 申 基喆, *Porphyromonas gingivalis* 由来 LPS 存在下でのメカニカルストレスによる骨芽細胞の RANKL 発現に対する TRPV4 の関与, 第62回秋季日本歯周病学会学術大会, 北九州, 2019. 10
 - 12) 新家央康, 歯周病患者におけるインプラント周囲のプロービングデプスに関する臨床的研究明海歯科医学会第39回学術大会, 坂戸, 2019.10
 - 13) 飯島孝典, 林 鋼兵, 辰巳順一, 申 基喆, 慢性剥離性歯肉炎を伴う重度慢性歯周炎患者に歯周基本治療を行った一症例, 第36回 日本臨床歯周療法 集団学術大会, 東京, 2019. 11
 - 14) 山本文太, 飯島孝典, 林 鋼兵, 申 基喆”, 慢性剥離性歯肉炎を伴う重度慢性歯周炎患者に歯周基本治療を行った一症例, 令和元年度埼玉県歯科医学大会, さいたま, 2020.2

E. その他の研究会, 講演など

- 1) 辰巳順一, 成長因子を用いた歯周組織再生療法「エムドゲイン」と「リグロス」を考える, 東京都玉川歯科医師会 2019 年度第1回学術講演会, 東京都世田谷区, 2019. 4
- 2) 辰巳順一, インプラント周囲炎の最新情報, 即時荷重研究会 第5回症例検討会

- 教育講演，東京都台東区，2019. 4
- 3) 林 丈一朗，歯周治療ベーシックシリーズ① 歯周治療の診査・診断と治療計画（歯周治療Ⅰ），明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部，新宿，2019. 6
 - 4) 林 丈一朗，歯周治療ベーシックシリーズ② 歯周基本治療（歯周治療Ⅱ），明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部，新宿，2019. 6
 - 5) 辰巳順一，歯周治療ベーシックシリーズ③ 歯周外科処置の基本，明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部，新宿，2019.6
 - 6) 辰巳順一，歯周治療ベーシックシリーズ④ オープンフラップキュレタージュ，明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部，新宿，2019.6
 - 7) 辰巳順一，龍田恒康，インプラントベーシックⅣ；インプラントの2次手術，明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部，浦安，2019. 7
 - 8) 辰巳順一，歯周治療Ⅲ&Ⅳ（マルチディシプレナリーアプローチ），明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部，新宿，2019. 7
 - 9) 林 丈一朗，クリニカルステップアップセミナー 歯周治療におけるインスツルメンテーション，明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部，新宿，2019. 7
 - 10) 林 丈一朗，歯科衛生士&歯科医師のための Dental Hygiene Process を活用した自律した歯科衛生士養成コース DAY1，明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部，新宿，2019.10
 - 11) 申 基詰，歯周外科シリーズ①ペリオとインプラトのためスーチャリングテクニック，明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部，新宿，2019.10
林 丈一朗，歯科衛生士&歯科医師のための Dental Hygiene Process を活用した自律した歯科衛生士養成コース DAY2，明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部，新宿，2019.11
 - 12) 申 基詰，歯周外科シリーズ②ペリオとインプラトのためハードティッシュマネジメント，明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部，新宿，2019.11
 - 13) 林 丈一朗，糖尿病患者への歯周病治療，愛知県歯科医師会（愛知県医師会共催）令和元年度 医療連携講習会，名古屋，2019. 12
 - 14) 林 丈一朗，歯科衛生士&歯科医師のための Dental Hygiene Process を活用した自律した歯科衛生士養成コース DAY3，明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部，新宿，2019.12
 - 15) 申 基詰，歯周外科シリーズ③ペリオドンタル&ペリインプラント・プラスチックサージェリー（ライブオペコース），明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部，浦安，2019.12
 - 16) 申 基詰，歯周外科シリーズ④アドバンス・ペリオタルフラップサージェリー（ライブオペコース），明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部，浦安，2020.2
 - 17) 林 丈一朗，歯科衛生士&歯科医師のための Dental Hygiene Process を活用

した自律した歯科衛生士養成コース DAY4, 明海大学・朝日大学歯学部生涯
研修部, 新宿, 2020. 2

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 研究代表者:申 基喆 研究分担者:辰巳順一, 林 丈一郎, 大塚秀春, 鈴木允文,
林 鋼兵, 歯周病患者に対するインプラント治療におけるインプラント周囲炎の
リスク因子を探る, 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) H29-R1 年度,
2019, 4
- 2) 研究代表者:大塚秀春 研究分担者:申 基喆、辰巳順一、林 丈一郎、林 鋼兵、
石井麻紀子, 低出力パルス超音波が歯周外科後の創傷治癒に与える効果,
学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) H28-R1 年度, 2019. 4
- 3) 研究代表者:辰巳順一, 研究分担者:申 基喆, 林 丈一郎, 大塚秀春, 鈴木允文,
林 鋼兵, 歯周病患者の歯周治療に伴う咀嚼機能の改善効果に関する臨床研究,
学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) ;R1 年-R5 年度, 2019, 4
- 4) 鈴木允文, 咬合性外傷を伴う歯周炎の歯槽骨吸収に対する薬物療法の可能性を
探る, 学術研究助成基金助成金, 若手研究;R1 年-R3 年度, 2019, 4

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 林 鋼兵, 宮田研究奨励金 (A), インプラント周囲炎に対し抗菌光線力学療法
(a-PDT) が新治療法となる可能性
- 2) 竹谷佳将, 宮田研究奨励金 (E), 歯周炎におけるメカニカルストレスを介した骨
吸収に対する TRPV4 の役割の解明

基礎生物学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Ide F, Muramatshu T, Miyazaki Y, Kikuchi K, Kusama K. Calcifying odontogenic cyst showing a varied epithelial lining: an additional case with implications for the divergent differentiation capacity of the cyst epithelium. Head and Neck Pathology 13:251-254, 2019
- 2) Ide F, Matsumoto N, Miyazaki Y, Kikuchi K, Kusama K. What is the non-calcifying langerhans cell-rich variant of calcifying epithelial odontogenic tumor? Head and Neck Pathology 13:489-491, 2019

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 星野 都, 金田朋久, 宮崎裕司, 西村学子, 菊池建太郎, 坂下英明, 草間 薫. 口腔粘膜上皮の角化異常における関連タンパクの発現について. 第 30 回日本臨床口腔病理学会 総会・学術大会, 2019 年 9 月 一橋大学
- 2) 宮崎裕司, 星野 都, 金田朋久, 西村学子, 菊池建太郎, 草間 薫. アセトアルデヒドが口腔上皮細胞に及ぼす影響. 第 61 回歯科基礎医学会学術大会, 2019 年 10 月 東京歯科大学

機能保存回復学講座

歯科生体材料学分野

歯科補綴学分野(有床義歯)

歯科補綴学分野(クラウン・ブリッジ)

保存治療学分野

オーラル・リハビリテーション学分野

摂食嚥下リハビリテーション学分野

基礎物理学分野

歯科材料学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 長沢悠子 (分担執筆). 歯科衛生学辞典, 永末書店, 京都, 2019.
- 2) 日比野 靖 (分担執筆). 歯科衛生学辞典, 永末書店, 京都, 2019.

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Carraba M, Nagasawa Y, Parrini S, Doldo T, Wood D and Ferrari M. Zirconia translucency and cement systems as factors influencing the zirconia-titanium and zirconia-zirconia shear bond strength. Int J Oral Maxillofac Implants 34, 1053-1058, 2019

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Eda Y, Nagasawa Y, Shigeta H, Matsumoto S, Suzuki R, Hibino Y and Nakajima H. Effect of cement thickness on shear strength of dental cements. 97th General Session & Exhibition of International Association of Dental Research, Vancouver, Canada, 2019.
- 2) Nagasawa Y, Hibino Y, Eda Y, Shigeta H and Nakajima H. Iosipescu shear strength of temporary crown and bridge materials. 97th General Session & Exhibition of International Association of Dental Research, Vancouver, Canada, 2019.
- 3) Eda Y, Nagasawa Y, Shigeta H, Matsumoto S, Hibino Y and Nakajima H. Effect of light irradiation on water sorption of resin cements. 98th General Session & Exhibition of International Association of Dental Research, 2020.
- 4) Nagasawa Y, Hibino Y, Eda Y, Shigeta H, Matsumoto S, Suzuki R and Nakajima H. Iosipescu shear strength of denture base resins. 98th General Session & Exhibition of International Association of Dental Research, 2020.

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 江田義和, 長沢悠子, 日比野 靖, 重田浩貴, 松本篤樹, 中嶋 裕: 試料保管条件がセルフアドヒーシブレジンセメントのせん断強さに及ぼす影響, 第73回日本歯科理工学会学術講演会, 東京, 2019

- 2) 長沢悠子, 日比野 靖, 重田浩貴, 江田義和, 松本篤樹, 和田賢一, 中嶋 裕”,
アクリルレジンの Iosipescu 法によるせん断強さ, 第 73 回日本歯科理工学会学術
講演会, 東京, 2019
- 3) 重田浩貴, 長沢悠子, 江田義和, 栗田 智, 尾松 純, 和田賢一, 日比野 靖,
中嶋 裕: 根管充填用シーラーの稠度に及ぼす測定環境の影響, 第 74 回日本歯科
理工学会学術講演会, 長崎, 2019
- 4) 江田義和, 長沢悠子, 日比野 靖, 重田浩貴, 松本篤樹, 中嶋 裕, Punch 法に
よるせん断強さの測定における応力解析, 第 74 回日本歯科理工学会学術講演会,
長崎, 2019
- 5) 日比野 靖, 大矢根綾子, 荒木裕子, 宮治裕史: 光重合型歯科用レジン表面への
マイクロ粗面アパタイト膜の液相接合, 第 41 回日本バイオマテリアル学会大会,
つくば, 2019
- 6) 日比野 靖, 大矢根綾子, 荒木裕子, 蔀 佳奈子, 宮治裕史: アパタイト成膜
フィルムによる光重合型歯科用レジンの簡易表面改質, 日本セラミックス協会
2020 年年会, 東京, 2020

歯科補綴学(有床義歯)

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) ”松村英雄, 大久保力廣, 二川浩樹, 吉田直美(編), 岡本和彦”, 咬合と下顎運動, 歯科衛生士講座 歯冠修復と欠損補綴の治療と診療補助, 永末書店, pp18-24., 2020, 1

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 染川正多, 鳴海史子, 松川高明, 濱坂弘毅, 松本大慶, 曾根峰世, 岡本和彦, 大川周治, 4 基本味のスクリーニング検査法を応用した味覚機能評価の有用性,” 明海歯学 48 (2) :27-34, 2019.”, 2019, 11
- 2) ”M. SONE*, Y. MIYOSHI, F. NARUMI, T. MATSUKAWA, S. UCHIDA, M. HAMASAKA, S. SOMEKAWA, D. MATSUMOTO, K. TAKAHASHI, M. SUZUKI, T. YOSHIDA, N. KOYAMA, D. SAKAMOTO, K. OKAMOTO, and S. OHKAWA”, Case Reports of a Removable Partial Denture Using Magnetic Attachments for a Successful Prognosis of Abutment Tooth,” JJ Mag Dent, 28 (2), ”, 2020, 3
- 3) ”Kazuhiko Okamoto, Shuji Ohkawa, David Ashley, Yung-Tsung Hsu”, IMPLAMTOLOGIE journal , IMPLAMTOLOGIE journal 7/8 : 22- 32, 2019, 11
- 4) ”曾根峰世, 三吉佑香, 鳴海史子, 松川高明, 内田茂則, 浜坂弘毅, 染川正多, 松本大慶, 高橋快, 鈴木美都, 吉田拓矢, 小山夏実, 坂本大輔, 岡本和彦, 大川周治”, 支台歯の予後を考慮して磁性アタッチメントを用いた症例, 日磁歯誌 28(1), 76-81, 2020, 1

3. 症例報告

- 1) ”M. SONE, M. HAMASAKA, F. NARUMI, T. MATSUKAWA, Y. OKAWA, S. SOMEKAWA, D. MATSUMOTO, K. TAKAHASHI, Y. MIYOSHI, M. SUZUKI, T. YOSHIDA, K. OKAMOTO, and S. OHKAWA”, A case report of a removable denture using magnetic attachments for a successful prognosis of abutment teeth, JJ Mag Dent vol.28 No.2 p1-3, 2019, 12
- 2) ”曾根峰世, 三吉佑香, 鳴海史子, 松川高明, 内田茂則, 浜坂弘毅, 染川正多, 松本大慶, 高橋快, 鈴木美都, 吉田拓矢, 小山夏実, 坂本大輔, 岡本和彦, 大川周治”, 支台歯の予後を考慮して磁性アタッチメントを用いた症例, 日本磁気歯科学会雑誌 28 卷 1 号 p76-81, 2019, 12

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) "M. SONE, D. MATSUMOTO, N. KOYAMA, F. NARUMI, T. MATSUKAWA, S. UCHIDA, S. SOMEKAWA, K. TAKAHASHI, M. SUZUKI, Y. MIYOSHI, T. YOSHIDA, D. SAKAMOTO, K. OKAMOTO, and S. OHKAWA", A case report of a removable partial denture using a magnetic attachment considering the load-bearing capacity of abutment teeth, The 19th International Conference on Magnetic Applications in Dentistry(Web site), 2020, 2
- 2) "Sone M, Matsumoto D, Koyama N and Ohkawa S", Aesthetic evaluation of peri-implant soft tissue- The influence exerted by the observer' s clinical experience -, 2019 Joint Meeting of the ICP and EPA(Amsterdam), 2019, 9

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) "岡本和彦, 松川高明, 瀨坂弘毅, 大川 穰, 染川正多, 松本大慶, 曾根峰世, 鳴海史子, 大川周治", CAD/CAM スキャニング用ポストを用いたポストクラウンの適合精度に関する検討, 平成 30 年度(公社)日本補綴歯科学会 東関東支部・西関東支部総会・合同学術大会(千葉), 2019, 5
- 2) "曾根峰世, 松本大慶, 小山夏実, 鳴海史子, 松川高明, 内田茂則, 染川正多, 高橋 快, 福澤将豪, 鈴木美都, 三吉佑香, 吉田拓矢, 坂本大輔, 関雅寛, 岡本和彦, 大川周治", インプラント周囲軟組織に関する審美性の定量的評価- 評価者の臨床経験による影響-, 令和元年度公益社団法人日本補綴歯科学会東関東支部総会・第 23 回学術大会, 浦和, 2020, 2
- 3) "曾根峰世, 松本大慶, 小山夏実, 鳴海史子, 松川高明, 内田茂則, 染川正, 高橋 快, 鈴木美都, 三吉佑香, 吉田拓矢, 坂本大輔, 岡本和彦, 大川周治", 支台歯の負担能力を考慮して磁性アタッチメントを用いた 1 症例, 第 28 回日本磁気歯科学会学術大会, 大分, 2019, 11
- 4) 鳴海史子, 松本大慶, 小山夏実, 内田茂則, 松川高明, 染川正多, 曾根峰世, 岡本和彦, 大川周治, 歯科恐怖症患者に全身麻酔法と系統的脱感作療法を併用して有床義歯補綴を行った 1 症例, 第 29 回日本全身咬合学会学術大会, 新潟, 2019, 11
- 5) 松本大慶, 小山夏実, 大川周治, 全部床義歯装着が味覚機能に及ぼす影響~味覚機能スクリーニング検査の応用~, 日本咀嚼学会 第 30 回学術大会, 東京, 2019, 10
- 6) 沼澤 美詠, 下顎がヒモ状顎堤を呈する無歯顎患者にインプラントオーバーデンチャーを装着した症例, 日本補綴歯科学会 第 23 回東関東支部学術大会, 埼玉, 2020, 2

- 7) 染川 正多, 松本 大慶, 小山 夏実, 大川 周治, 4基本味のスクリーニング
検査法を応用した味覚機能評価, 日本顎口腔機能学会 第 63 回学術大会, 東京,
2019, 10

歯科補綴学(クラウン・ブリッジ)

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 藤澤政紀. 機能と心理 IN 歯科審美学 第1版, 永末書店(京都) pp19-24, 2019.8
- 2) 三浦賞子. 歯科用 CAD/CAM システムを用いたコンポジットレジンクラウン. IN 歯科審美学 第1版, 永末書店(京都) pp111-113, 2019, 8
- 3) 佐藤雅介, 藤澤政紀. 合着と接着の違い IN 聞くに聞けない補綴治療 100 第1版, デンタルダイヤモンド社(東京) pp80-81, 2019, 10
- 4) 勅使河原大輔, 藤澤政紀. 補綴装置の違いによるセメント材料の選択 IN 聞くに聞けない補綴治療 100 第1版, デンタルダイヤモンド(東京) pp82-83, 2019, 10
- 5) 三浦賞子, 藤澤政紀. ラミネートベニア形成の注意点を教えてください. IN 満足度を高める審美歯科の Q&A32, デンタルダイヤモンド(東京) pp18-21, 2019, 10
- 6) 藤田崇史, 橋戸由紀子, 藤澤政紀. プロビジョナルレストレーションの形態を最終補綴に反映させる際のコツを教えてください. IN 満足度を高める審美歯科の Q&A32, デンタルダイヤモンド(東京) pp32-35, 2019, 10

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Yamauchi S, Miura S, Kasahara S, Sun J, Egusa H. A Thick Frame Decreases the Fracture Toughness of Veneering Ceramics Used for Zirconia-Based All-Ceramic Restorations. J Prosthodontic Research. 63(2) : 184 -192, 2019, 4
- 2) 三浦寛貴, 遠藤佳章, 鈴木暁, 安岡裕輔, 木村和樹, 堀本ゆかり. 理学療法士の臨床実習生指導時の意識の検討. 理学療法科学. 34(2) : 233-238, 2019, 4
- 3) Teshigawara D, Ino T, Otsuka H, Isogai T, Fujisawa M. Influence of elastic modulus mismatch between dentin and post-and-core on sequential bonding failure., J Prosthodont Res. 63 : 227-231, 2019, 2019, 5
- 4) 橋戸広大, 磯貝知範, 三浦賞子, 佐藤雅介, 勅使河原大輔, 齊藤小夏, 藤田崇史, 藤澤政紀. CAD/CAM クラウンにおける歯冠形態再現性－歯冠外形と浮き上がりの検討－, 歯科審美. 2019 32 (1) : 10-20, 2019, 9
- 5) 窪木拓男, 市川哲雄, 馬場一美, 藤澤政紀, 佐藤博信, 會田英紀, 小山重人, 秀島雅之, 佐藤裕二, 和気裕之, 大野(木村)彩, 永尾寛, 上田(小平)順加, 玉置勝司, 貞森紳丞, 津賀一弘, 西恭宏, 澤瀬隆, 越野寿, 鱒見進一, 櫻井薫, 石橋寛二, 大山喬史, 赤川安正,

平井敏博, 佐々木啓一, 古谷野潔, 矢谷博文, 松村英雄. 補綴歯科治療の難易度を測定するプロトコルの妥当性の検討—(公社)日本補綴歯科学会による多施設臨床研究—, 日補綴会誌. 11 (4) : 355-375, 2019, 10

- 6) 藤澤政紀. 歯科補綴治療への歯科心身医学の応用, 日歯心身 34 (1), (2) :13-17, 2019, 12
- 7) 佐藤雅介, 村上小夏, 三浦寛貴, 浅見和哉, 塚田翔平, 磯貝知範, 勅使河原大輔, 三浦賞子, 藤澤政紀. 覚醒時ブラキシズムに対する EMG バイオフィードバック訓練が筋痛の症状改善効果に及ぼす影響, 明海歯学. 2020 49 (1) : 23-31, 2020, 2

2. 総説

- 1) Miura S, Fujisawa M, Komine F, Maseki T, Ogawa T, Takebe J, Nara Y. Importance of interim restorations in the molar region. J oral science. 61(2) : 195 - 199, 2019, 6

3. 症例報告

- 1) 三浦賞子, 笠原 紳, 藤澤政紀. テトラサイクリン変色歯に対する低透明度セラミックスを応用したラミネートベニア修復による審美改善, 歯科審美. 32 (1) : 21-25, 2019, 9
- 2) 藤田崇史. 治療用義歯を用いて咀嚼機能を改善した全部床義歯症例, 日補綴会誌. 11 (4) : 415-418, 2019, 10
- 3) 前田拓郎, 藤田崇史, 猪野照夫, 藤澤政紀. 歯科治療恐怖症患者に対して心身医学的配慮のもと補綴処置を行った1例. 明海歯学. 49 (1) : 32-36, 2019, 11
- 4) 三浦賞子, 笠原 紳, 山内しのぶ, 藤澤政紀. シングルリテーナーカンチレバー2ユニットブリッジによる審美改善, 歯科審美 32(2) :142-146, 2020, 3

D. 学会発表

1. 国際学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) Fujisawa M. Upcoming Esthetic Dentistry -Facing super aged society-. Korean Academy of Esthetic Dentistry. (Seoul) 2019, 11

(3) 一般演題

- 1) Miura S, Kasahara S, Yamauchi S, Fujisawa M, Egusa H, Crown Thickness and Debonding of CAD/CAM-Produced Composite Resin Premolar Crowns, 97th International Association for Dental Research (Vancouver) 2019.6

- 2) Miura S, Tsukada S, Yoshizawa R, Fujisawa M, Evaluation of Abutment Tooth Color, Cement Color, and Different Thickness of Computer-Aided Design/Computer-Aided Machining Blocks, ICP & EPA Joint Meeting (Amsterdam) 2019. 9
- 3) Tsukada S, Miura S, Isogai T, Hashido K, Nakajima K, Fujisawa M, Influence of abutment material color and cement color on the final color of high translucent zirconia crowns , The 5th Annual Meeting of International Academy for Digital Dental Medicine (Nara) , 2019. 10
- 4) Isogai T, Miura S, Tsukada S, Teshigawara D, Fujisawa M, Evaluation of color measurement accuracy using two non-contact type dental spectrophotometric devices (Nara), 2019. 10
- 5) Tsukada S, Miura S, Fujisawa M, Effect of abutment tooth color and cement color on color reproduction of high translucent zirconia crowns , 2019 KAED Annual Meeting (Seoul) , 2019. 11
- 6) Miura S, Tsukada S, Fujisawa M, Color evaluation of abutment tooth color, cement color, and thickness of laminate veneer restorations , 2019 KAED Annual Meeting (Seoul) , 2019. 11

2. 全国学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 藤澤政紀. これまでの 30 年に立脚したこれからの日本歯科審美学会. 一般社団法人日本歯科審美学会第 30 回学術大会 理事長講演 (東京) 2019.12.1

(2) シンポジウム

- 1) 勅使河原大輔. リハビリメイクから再建を考える 顎義歯を用いた顔貌回復. 第 38 回日本口腔腫瘍学会 パネルディスカッション (東京) 2020.1.23

(3) 一般演題

- 1) 三浦寛貴, 斉藤小夏, 佐藤雅介, 大塚英稔, 浅見和哉, 藤澤政紀. 日中の筋電図バイオフィードバック訓練が夜間睡眠時の心拍変動に及ぼす影響, 第 62 回日本顎口腔機能学会学術大会 (名古屋), 2019. 4
- 2) 浅見和哉, 佐藤雅介, 大塚英稔, 斉藤小夏, 前田拓郎, 藤澤政紀. ブラキシズムと口唇閉鎖力, 舌圧, 頬圧の関係, 日本補綴歯科学会第 128 回学術大会(札幌), 2019. 5
- 3) 塚田翔平, 三浦賞子, 藤田崇史, 吉沢亮平, 勅使河原大輔, 橋戸広大, 磯貝知範,

- 藤澤政紀. 支台歯色およびセメント色の違いが高透光性ジルコニアクラウンの色調に及ぼす影響, 第128回日本補綴歯科学会学術大会(札幌), 2019. 5
- 4) 佐藤雅介. 覚醒時ブラキシズムに対するEMGバイオフィードバック訓練が筋痛の症状改善効果に及ぼす影響, 明海歯科医学学会第38回学術大会(坂戸), 2019. 6
 - 5) 勅使河原大輔, 去川俊二, 浅野悠, 榎木祐一郎, 林直樹, 藤澤政紀. ガイド義歯を用いた顎骨即時再建における術前補綴介入, 日本顎顔面補綴学会 第36回 総会・学術大会(仙台), 2019. 6
 - 6) 三浦賞子, 藤澤政紀. セメント色および支台歯色の違いがラミネートベニア修復の色調に及ぼす影響, 第38回日本接着歯学会学術大会(名古屋) 2019. 9
 - 7) 磯貝知範. 天然歯形態を再現した三次元有限要素モデルにおける支台築造歯の力学的検討, 明海歯科医学学会第39回学術大会(坂戸) 2019. 10
 - 8) 玉置勝司, 安彦善裕, 尾口仁志, 古賀千尋, 島田淳, 杉本是明, 松本厚枝, 藤澤政紀, 依田哲也, 渡邊友希. 歯科心身医学の教育および歯科心身症患者への対応に関する調査結果について, 第2回日本心身医学関連学会合同集会 第34回日本歯科心身医学会総会・学術大会(大阪), 2019.11
 - 9) 脇智典, 峯篤史, 佐藤洋平, 小林幹宏, 保坂啓一, 高橋真広, 石川功和, 鍛治田忠彦, 渡邊清志, 江本朋弘, 齊木好太郎, 橋場千織, 石川明子, 武部純, 藤澤政紀. 「審美を極める」シリーズセミナー(歯科医師・歯科技工士)の概括と成果, 日本歯科審美学会第30回学術大会(東京), 2019. 11.31.
 - 10) 植松裕美, 酒井麻里, 石野由美子, 坂本奈津季, 山羽京子, 藤澤政紀. 歯科衛生士を対象とした「極めるシリーズ」セミナーのアンケート報告. 日本歯科審美学会第30回学術大会(東京), 2019. 11.31.
 - 11) 三浦賞子, 塚田翔平, 藤田崇史, 橋戸広大, 勅使河原大輔, 藤澤政紀. 積層造形法により製作したジルコニアクラウンの精度に関する研究, 日本歯科審美学会第30回学術大会(東京), 2019. 11.31
 - 12) 塚田翔平, 三浦賞子, 藤田崇史, 磯貝知範, 佐藤雅介, 村上小夏, 藤澤政紀. 高透光性ジルコニアクラウンの色調に関する研究ー支台歯色およびセメント色の影響ー, 日本歯科審美学会第30回学術大会(東京), 2019. 11.31
 - 13) 藤田崇史, 三浦賞子, 塚田翔平, 竹谷沙織, 新井摩季, 藤澤政紀. 分光測色計によるホワイトニングの評価ー術後の経時的変化についてー, 日本歯科審美学会第30回学術大会(東京), 2019. 11.31

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 浅見和哉, 佐藤雅介, 村上小夏, 磯貝知範, 三浦賞子, 勅使河原大輔, 橋戸広大, 藤田崇史, 前田拓郎, 塚田翔平, 井口将, 藤澤政紀. 小型タブレット端末と

筋電計による覚醒時ブラキシズムの評価,令和元年度 日本補綴歯科学会
東関東支部学術大会(さいたま)2020.2

E. その他の研究会、講演など

- 1) 藤澤政紀. 歯科審美学への誘い. 岩手医科大学 補綴・インプラント学講座 特別セミナー, (盛岡)2019, 6. 3
- 2) 藤澤政紀. ブラキシズムへの挑戦 -バイオフィードバックの可能性-. 明海大学歯学部硬式庭球部OB会学術講演会. (横浜)2019, 7.14
- 3) 藤澤政紀. CAD/CAM クラウン製作 -ハンズオンセミナー- ベーシック補綴臨床 (盛岡)2019

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 藤澤政紀(代表研究者), 佐藤雅介, 斉藤小夏, 田邊憲昌, 小見山道, 飯田崇, 寺田信幸. 筋電図バイオフィードバック訓練による咀嚼筋痛患者の症状改善に関する多施設研究, 2015-2019年度 科学研究費補助金 基盤B(15H05031).
- 2) 佐藤雅介, 覚醒時ブラキシズムの診断基準を確立する, 2019-2021年度学術研究助成基金助成金 若手研究(19K19102).
- 3) 斉藤小夏. 日中の筋電図バイオフィードバック訓練による夜間グライディング及び中枢への影響, 2019-2020年度 学術研究助成基金助成金 若手研究(19K19101).
- 4) 三浦賞子(研究代表者) モノリシックジルコニア修復の前向き臨床研究 —長期予後を目指した形態・機能の追跡— 2017-2019年度 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) (17K11739)

3. 宮田研究奨励金(A)および(E)

- 1) 勅使河原大輔. 個別化による新しい支台歯有限要素解析法, 2019年度 宮田研究奨励金(A)

保存治療学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 木村文彦・神成貴夫・篠田和明・和田恵：エンドペリオ病変はこう治す!—その歯の保存をあきらめない。インターアクション 2019年6月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Kadokura H, Yamazaki T, Masuda Y, Kato Y, Hasegawa A, Sakagami H and Yokose S: Establishment of a Primary Culture System of Human Periodontal Ligament Cells that Differentiate into Cementum Protein 1-expressing Cementblast-like Cells. *In vivo* 33, 349-352, 2019
- 2) Masuda Y, Sakagami H, Yokose S and Udagawa N: Effect of Small-molecule GSK3 Antagonist on Differentiation of Rat Dental Pulp Cells into Odontoblasts. *In vivo* 34, 1071-1075, 2020
- 3) 大野由夏, 高木沙央理, 市村葉, 横瀬敏志, 藤巻高光, 井手康雄, 長坂浩, 小長谷光: 経穴の半導体レーザー照射により下行性疼痛抑制系が賦活化され三叉神経痛の誘発痛が軽減したと考えられた一症例. *日レ歯誌* 18(2), 36-40, 2019
- 4) 横瀬敏志, 加藤邑佳, 門倉弘志, 山崎崇秀, 上田堯之, 増田宜子: ラット歯髓細胞の dentinogenesis に及ぼす oxytocin の影響について. *日本歯内誌* 40, 2, 103-110
- 5) 増田宜子, 坂上宏, 門倉弘志, 山崎崇秀, 長谷川彰彦, 横瀬敏志: クマザサ葉アルカリ抽出液 (ササヘルス®) とダイオードレーザーを用いた光線力学療法による抗菌効果に関する基礎的研究: *日本歯内誌* 40, 1, 20-25
- 6) 山崎崇秀, 横瀬敏志: 半導体レーザー照射が閉経後骨粗鬆症モデルのオッセオインテグレーションに及ぼす影響. *New Food Indust* 61, 674-682, 2019

2. 総説

- 1) 横瀬敏志, 加藤邑佳, 長谷川彰彦, 増田宜子: 歯内療法におけるレーザー応用の可能性について. *日本歯内誌* 41, 2, 77-81
- 2) 門倉弘志, 山崎崇秀, 加藤邑佳, 長谷川彰彦, 横瀬敏志: 骨細胞機能から考える骨組織への低出力レーザー照射の作用. *The CELL* p42-46 細胞 51(13)682-686(2019.11)

D. 学会発表

2. 全国学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 横瀬敏志：特別講演「骨代謝から考えるレーザーのインプラント治療における展開」
日本先進インプラント医療学会，第 22 回総会・学術大会，東京，2019 年 8 月
- 2) 市村葉，砂川正隆，小山悠子：認定医試験のための講習会．日本歯科東洋医学会
第 37 回学術大会，広島，2019 年 10 月

(2) シンポジウム

- 1) 横瀬敏志：低侵襲な物理学的刺激による効率的な骨再生の可能性を探る．
第 62 回春季日本歯周病学会学術大会，横浜，2019 年 5 月
- 2) 横瀬敏志：第 9 回 DNA 特別講演会「歯科と身体 人間の生きる力と歯科の重要性」
YOSHIDA，東京，2019 年 3 月
- 3) 横瀬敏志：第 78 回日本矯正歯科学会学術大会，長崎，2019 年 11 月
- 4) 横瀬敏志：第 37 回日本顎咬合学会学術大会・総会，東京，2019 年 9 月

(3) 一般演題

- 1) 山崎崇秀，加藤邑佳，長谷川彰彦，横瀬敏志：ラット骨髄細胞由来骨原生細胞
に対する半導体レーザー照射の影響について．第 40 回日本レーザー医学会，
浜松，2019 年 10 月
- 2) 加藤邑佳，矢野結，門倉弘志，山崎崇秀，増田宜子，横瀬敏志：ラット培養
歯髄細胞において oxytocin は Wnt シグナル経路を介して象牙質形成を促進する．
第 40 回日本歯内療法学会学術大会，東京，2019 年 6 月
- 3) 加藤邑佳：Oxytocin のラット歯髄組織に対する象牙芽細胞への分化・形成
に及ぼす作用について．明海歯科医学会第 39 回学術大会，坂戸，2019 年 11 月

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 和田恵：三次元的骨欠損形態評価システムの構築に基づく垂直性歯根破折の診断．
学術研究助成基金助成金 若手研究(B) 2016-2019

2. 宮田研究奨励金

- 1) 加藤邑佳：Oxytocin が象牙芽細胞の分化・形成に及ぼす作用について探索する．
宮田研究奨励金 E 2019 年度

オーラル・リハビリテーション学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 松田哲：臨床家のためのデンタルスーチャリングー切開・縫合・結紮ー。デンタルダイヤモンド社，2019，10

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 本木萌洋，溝部健一，川邊好弘，鈴木玲爾，荒木久生：明海大学 PDI 埼玉歯科診療所における新来患者(80歳以上)の欠損状態と咬合支持に関する統計的観察。日口診誌 32, 3, 197-203, 2019, 10
- 2) Yasushi HORIUCHI, Takuya IKURA, Nana IIZUKA, Masumi OZAWA, Yoko HASEGAWA, Satoru MATSUDA: Effect of Temperature on tooth whitening. 明海歯科医学 49, 1-7, 2020, 2

2. 総説

- 1) 溝部健一，荒木久生：根面被覆の術式選択に CBCT を応用した一症例。日歯周誌 61, 4, 178-186, 2019, 12

3. 症例報告

- 1) 草間淳，松田哲，小澤万純，齋藤大崇，長谷川陽子，嶋田淳：歯槽骨内に深く埋入、長期間放置されたインプラント除去にコンピュータガイドドサージェリーを応用した一症例。日本口腔インプラント学会誌 33, 52-58, 2020, 3

C. その他の刊行物など

- 1) 松田哲，石川栞：歯周病にならないための歯磨きケア。NTT Finance Web Magazine TRACE Vol.73, 2019, 6
- 2) 松田哲：臨床家のためのデンタルスーチャリングー切開・縫合・結紮 9ー。デンタルダイヤモンド社 DENTAL DIAMOND 第44巻第5号 74-79, 2019, 4
- 3) 松田哲：臨床家のためのデンタルスーチャリングー切開・縫合・結紮 10ー。デンタルダイヤモンド社 DENTAL DIAMOND 第44巻第7号 66-74, 2019, 5
- 4) 松田哲：臨床家のためのデンタルスーチャリングー切開・縫合・結紮 11ー。デンタルダイヤモンド社 DENTAL DIAMOND 第44巻第8号 90-95, 2019, 6
- 5) 松田哲：臨床家のためのデンタルスーチャリングー切開・縫合・結紮 12ー。デンタルダイヤモンド社 DENTAL DIAMOND 第44巻第9号 74-81, 2019, 7

- 6) 松田哲：臨床家のためのデンタルスーチャリングー切開・縫合・結紮 13ー。
デンタルダイヤモンド社 DENTAL DIAMOND 第44巻第11号 68-73, 2019, 8
- 7) 松田哲：臨床家のためのデンタルスーチャリングー切開・縫合・結紮 14ー。
デンタルダイヤモンド社 DENTAL DIAMOND 第44巻第12号 74-82, 2019, 9
- 8) 松田哲：臨床家のためのデンタルスーチャリングー切開・縫合・結紮 15ー。
デンタルダイヤモンド社 DENTAL DIAMOND 第44巻第13号 74-78, 2019, 10
- 9) 鈴木玲爾：審美領域におけるインプラント埋入のタイミングと術式について
教えてください，患者満足度を高める審美歯科のQ&A。デンタルダイヤモンド社
DENTAL DIAMOND 増刊号 第3章インプラント，114-121, 2019, 10
- 10) 町谷亜位子，小口寛子，石田結，元村洋一，中村裕子，吉川正芳，下島孝裕：
多職種協働によるフレイル予防への新戦略ー口腔における予知性の高いリスク
判定法の確立に向けてー。地域ケアリング 22, 67-69, 2020, 2

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Masayoshi Yoshikawa, Mitsuo Kakei: TEM study of compositional and structural changes of bone crystals by heating. 15th International symposium on Biomineralization, ミュンヘン ドイツ, 2019, 9

2. 全国学会

(1) 特別講演（教育講演）

- 1) 松田哲：デンタルスーチャリング基礎から応用まで，日本顎咬合学会関東甲信越支部学術大会，東京，2019，10

(3) 一般演題

- 1) 長沢悠子，日比野靖，重田浩貴，江田義和，松本篤樹，和田賢一，中畠裕：
アクリルレジンの Iosipescu 法によるせん断強さ。第73回日本歯科理工学会
学術講演会，東京，2019，4
- 2) 江田義和，長沢悠子，日比野靖，重田浩貴，松本篤樹，中畠裕：試料保管条件が
セルフアドヒーシブレジメンセメントのせん断強さに及ぼす影響。第73回日本
歯科理工学会学術講演会，東京，2019，4
- 3) 堀内康志，長谷川陽子，小澤万純，松田哲：インプラントの追加埋入に際し，
異なるシステムを用いた1症例。第37回日本顎咬合学会学術大会・総会，東京，
2019，6
- 4) 長谷川陽子，齋藤大嵩，飯塚奈々，松田哲：インプラント初期経過不良部位に

- 再埋入し良好な結果を得た一症例. 第 37 回日本顎咬合学会学術大会・総会, 東京, 2019, 6
- 5) 竹ノ谷 淳, 川邊好弘, 鈴木玲爾, 溝部健一: インプラント前処置として歯槽堤増大術を行った 1 症例. 第 37 回日本顎咬合学会学術大会・総会, 東京, 2019, 6
- 6) 小澤万純, 齋藤大嵩, 近藤千尋, 松田哲: インプラント補綴が口腔環境に及ぼす影響. 第 37 回日本顎咬合学会学術大会・総会, 東京, 2019, 6
- 7) 松本篤樹, 鈴木玲爾: フラビーガムを有する総義歯の 1 症例. 第 37 回日本顎咬合学会学術大会・総会, 東京, 2019, 6
- 8) 鈴木惇也, 鈴木玲爾, 松本篤樹: 一口腔一単位にて機能回復を行った 1 症例. 第 37 回日本顎咬合学会学術大会・総会, 東京, 2019, 6
- 9) 河方知裕, 小澤万純, 長谷川陽子, 松田哲: 下顎右側犬歯の欠損補綴にインプラントを用いた一症例. 第 37 回日本顎咬合学会学術大会・総会, 東京, 2019, 6
- 10) 浅見健介, 川邊好弘, 溝部健一, 鈴木玲爾: 矯正的挺出と臨床的歯延長術によりフェルールを獲得した 1 症例: 第 37 回日本顎咬合学会学術大会・総会, 東京, 2019, 6
- 11) 玉置佳嵩, 鈴木玲爾, 溝部健一, 松本篤樹: 歯肉退縮部位に結合組織移植を応用し根面被覆を行った 1 症例. 第 37 回日本顎咬合学会学術大会・総会, 東京, 2019, 6
- 12) 下川原真子, 鈴木玲爾, 松本篤樹: 治療期間中の QOL を考慮しインプラント修復を行った 1 症例. 第 37 回日本顎咬合学会学術大会・総会, 東京, 2019, 6
- 13) 齋藤大嵩, 河方知裕, 堀内康志, 松田哲: 上顎前歯部欠損補綴にインプラントを用いた一症例. 第 37 回日本顎咬合学会学術大会・総会, 東京, 2019, 6
- 14) 杉山雄一郎, 松本篤樹, 溝部健一, 鈴木玲爾: 新義歯を用いた咀嚼機能訓練が有効だった 1 症例, 第 37 回日本顎咬合学会学術大会・総会, 東京, 2019, 6
- 15) 松本和也, 鈴木玲爾, 松本篤樹: 補綴前処置として矯正的挺出および歯冠長延長術を行った 1 症例. 第 37 回日本顎咬合学会学術大会・総会, 東京, 2019, 6
- 16) 沼田洋孝, 本木萌洋, 溝部健一, 鈴木玲爾: 補綴前処置における臨床的歯冠長延長術を行った 1 症例, 第 37 回日本顎咬合学会学術大会・総会, 東京, 2019, 6
- 17) 飯塚奈々, 草間淳, 河方知裕, 松田哲: 包括的治療により咬合の安定が得られた一症例. 第 37 回日本顎咬合学会学術大会, 東京, 2019, 6
- 18) 河方知裕, 松田哲, 飯塚奈々, 堀内康志, 小澤万純, 大竹千尋, 飯倉拓也, 嶋田淳: 明海大学 PDI 東京歯科診療所におけるインプラント治療の臨床統計観察. 第 30 回日本臨床口腔病理学会, 第 29 回日本口腔内科学会, 第 32 回日本口腔診断学会合同学術大会, 2019, 9
- 19) 飯塚奈々, 大竹千尋, 草間淳, 小澤万純, 河方知裕, 堀内康志, 松田哲: 明海大学 PDI 東京歯科診療所における新来患者臨床統計的観察 - 2005 年と

- 2013年と2018年の比較－. 第30回日本臨床口腔病理学会, 第29回日本口腔内科学会, 第32回日本口腔診断学会合同学術大会, 2019, 9
- 20) 堀内康志, 飯倉拓也, 草間淳, 飯塚奈々, 河方知裕, 松田哲, 嶋田淳: 下顎智歯歯根を誤って口腔底に迷入させ, 舌側アプローチにより摘出を行なった1症例. 第30回日本臨床口腔病理学会, 第29回日本口腔内科学会, 第32回日本口腔診断学会合同学術大会, 2019, 9
- 21) 永井美季里, 樋口倫子, 林哲也, 杉浦雄策, 宮田捷信, 下島孝裕: 専門性を消し専門性を活かす学生支援 その3－学生の力になる学生相談・保健管理センター連携. 第57回全国大学保健管理研究集会, 北海道, 2019, 10
- 22) 町谷亜位子, 大塚彩加, 田邊千佳子, 石田結, 中村裕子, 吉川正芳, 下島孝裕: 十分な光照射野の得られない特殊環境下における新しい光強度増幅法の開発. 第151回秋季日本歯科保存学会学術大会, 福岡, 2019, 11
- 23) 新井拓未, 野村啓太, 宮島俊博, 町谷亜位子, 小口寛子, 高野安紀子, 中村裕子, 下島孝裕: 電気化学的溶解を用いた根管内破折ファイルの除去に関する基礎的研究. 第151回秋季日本歯科保存学会学術大会, 福岡, 2019, 11
- 24) 町谷亜位子, 高野安紀子, 吉川正芳, 下島孝裕: 深部埋伏歯への牽引用アタッチメント装着を目的とした新規インスツルメントの開発. 第78回日本矯正歯科学会学術大会, 長崎, 2019, 11
- 25) 松本和也, 鈴木玲爾: 補綴全処置としてMTMを行なった1症例. 第30回歯科審美学会, 東京, 2019, 11
- 26) 齋藤大崇, 松田哲, 小澤万純, 嶋田淳: 埋入スペースの限られた上顎前歯部欠損に対するインプラント埋入での工夫. 第38回関東甲信越支部日本口腔インプラント学会学術大会, 新潟, 2020, 2
- 27) 小澤万純, 松田哲, 齋藤大崇, 嶋田淳: インプラント表面性状がインプラント間骨頂部の高さに及ぼす影響. 第38回関東甲信越支部日本口腔インプラント学会学術大会, 新潟, 2020, 2

E. その他の研究会、講演など

- 1) 松田哲: インプラント治療の「痛み」をコントロールする－麻酔の基本と術前術後の患者対応から－. 明海大学歯学部東京都同窓会, 新春学術講演会, 東京, 2020, 1
- 2) 下島孝裕: 介護予防, 認知機能低下防止のための口腔機能管理. 浦安市社会福祉協議会研修会(指定講演), 2020, 2

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 中村裕子, 森一将: 学術助成基金助成金 基盤C, 文部科学省, 2019, 4

摂食嚥下・リハビリテーション学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Ooka T: Dentistry and nutrition during the COVID-19 pandemic. *New Food Industry*, 62, 710-711, 2020
- 2) Tiziana Doldo, Takafumi Ooka, Hiroaki Takanashi, Naho Yamamoto, Hiroshi Sakagami: School cafeteria in the world (5). *New Food Industry*, 62, 710-711, 2020

D. 学会発表

(3) 一般演題

- 1) 大岡貴史, 高野梨沙: 新生児科外来における摂食指導患児の統計的検討. 第 67 回日本小児保健協会学術集会, 2020.
- 2) 大岡貴史: 小児在宅歯科診療において地域連携を元に摂食嚥下リハビリテーションを行った例. 第 3 回小児在宅歯科医療研究会, 2020.
- 3) 進藤彩花, 草野緑, 高野梨沙, 矢尾喜三郎, 上田智也, 大岡貴史: 歯科的介入のない老人ホーム入所者の口腔内状況に関する実態調査: 日本老年歯科医学会第 31 回学術大会, WEB 開催, ポスター発表, 2020

3. 地方会

(2) シンポジウム

- 1) 大岡貴史: 安全な摂食嚥下機能評価を行うために. 第 19 回日本口腔ケア学会, 2018.
- 2) 大岡貴史: 摂食嚥下若手企画シンポジウム. 日本老年歯科医学会第 31 回学術大会, 2020.

E. その他の研究会、講演など

- 1) 大岡貴史: 多職種連携における低栄養・摂食嚥下障害への対応力向上講座. 富良野歯科医師会, 2020.
- 2) 大岡貴史: 口腔機能の発達に応じた食事の環境整備. 新宿区保健所, 2020.
- 3) 大岡貴史: 地域における摂食嚥下障害の評価と多職種による支援. 坂戸保健所, 2020.
- 4) 大岡貴史: 社会に求められる訪問看護サービスと訪問看護の対象. 埼玉県訪問看護ステーション協会, 2020.
- 5) 大岡貴史: 令和 2 年小児在宅歯科医療推進研究会. 埼玉県歯科医師会, 2020.
- 6) 大岡貴史 出浦恵子 進藤彩花 上田智也 草野緑 岡澤仁志 田中入: 地域

歯科診療所と歯科大学院が共同で長期介入を行った在宅小児への口腔機能管理の
1例：令和2年度埼玉県歯科医学大会，一般公演，2020

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

1) 研究代表者 大岡貴史：科研費基盤C（課題番号18K09707）「非接触・非装着型
インターフェースを用いた新たな顎口腔機能検査法の基礎的研究」

基礎物理学

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 小林 孝嘉, 両角海里, 雪田俊平, 中田和明, 徳永英司、単電極の界面平行電流による水のポッケルス効果、第 67 回応用物理学会春季学術講演会、2020 年 3 月 12 日～3 月 15 日

- 2) 小林孝嘉、中田和明、狩野豊、徳永英司、高感度多色超解像顕微鏡の開発とその細胞生理病理過程の解明への応用、第 64 回光波センシング技術研究会、2019 年 12 月 10 日

- 3) 櫻内 衛, 瀬戸啓介, 中田和明, 小林孝嘉, 徳永英司、熱的異方性検出多焦点光熱顕微鏡の開発、日本物理学会 2019 年秋季大会、2019 年 9 月 12 日

病態診断治療学講座

病 理 学 分 野

薬 理 学 分 野

総合臨床歯科学分野

歯科放射線学分野

口腔顎顔面外科学分野(Ⅰ)

口腔顎顔面外科学分野(Ⅱ)

高齢者歯科学分野

歯科麻酔学分野

歯科法医学分野

病理学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 永山元彦, 落合隆永, 江原道子, 草間薫, 菊池建太郎, 西村学子, 美島健二, 田中準一, 久山佳代, 入江太郎. 要説 病理学総論, 医学情報社, 2020, 3

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Neopane P, Paudel D, Yoshida K, Raj Adhikari B, Morikawa T, Onishi A, Hiraki D, Uehara O, Sato J, Nishimura M, Chiba I and Abiko Y. Immunohistochemical localization of RNase 7 in normal and inflamed oral epithelia and salivary glands. *Acta Histochem Cytochem*, 52(2), 2019, 4
- 2) Ide F, Ito Y, Muramatsu T, Miyazaki Y, Nishimura M, Kikuchi K and Kusama K. The Advent of studies on jaw cysts with keratinization: A review of overlooked papers on odontogenic keratocyst and orthokeratinized odontogenic cyst. *Head Neck Pathol*, 23, 2019, 12
- 3) 草間 薫, 金田朋久, 星野 都, 西村学子, 菊池建太郎, 坂下英明, 申 基喆. 歯周病と関節リウマチおよび EBV 陽性粘膜皮膚疾患との関連. *有病者歯科医療* 28 (6), 2019, 11

3. 症例報告

- 1) 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 星野 都, 菊池建太郎, 坂下英明. 上顎に発生した象牙質形成性幻影細胞腫の1例. *日本口腔外科学会雑誌* 65(10), 2019, 10
- 2) Kikuchi K, Fukunaga S, Ide F, Hoshino M, Inoue H, Miyazaki Y, Li TJ and Kusama K. Primary intestinal-type adenocarcinoma of the buccal mucosa: A case report and literature review. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol*, 127(2), 2019 2
- 3) Kikuchi K, Nagao T, Ide F, Takizawa S, Sakashita H, Tsujino I, Tie-Jun Li and Kusama K. Palatal Polymorphous Adenocarcinoma with High-Grade Transformation: A Case Report and Literature Review. *Head Neck Pathol*, 13, 2019, 6
- 4) Eguchi M, Shigematsu H, Oku Y, Kikuchi K, Okada M and Sakashita H. Case Report A case of a large thrombosed lingual varix. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol*, 31(3), 2019, 5

4. 短報

- 1) Ide F, Ito Y, Nishimura M, Kikuchi K and Kusama K. Ghost/shadow cell differentiation in salivary gland tumors. *Virchows Arch*, 477, 2020, 2
- 2) Ide F, Muramatsu T, Miyazaki Y, Kikuchi K and Kusama K. Calcifying Odontogenic Cyst Showing a Varied Epithelial Lining: An Additional Case with Implications for the Divergent Differentiation Capacity of the Cyst Epithelium. *Head Neck Pathol*, 13, 2019, 1
- 3) Ide F, Matsumoto N, Miyazaki Y, Kikuchi K and Kusama K. Recurrence of adenomatoid odontogenic tumor. *J Oral Pathol Med*, 48(1), 2019, 1
- 4) Ide F, Matsumoto N, Kikuchi K and Kusama K. Who originally described Pindborg tumor? *Head Neck Pathol*, 13(3), 2019, 9
- 5) Ide F, Matsumoto N, Kikuchi K and Kusama K. Microcystic adenocarcinoma. An initially overlooked first proposal of the term. *Head Neck Pathol*, 13(3), 2019, 9
- 6) Ide F, Matsumoto N, Miyazaki Y, Kikuchi K and Kusama K. What is the non-calcifying Langerhans cell variant of calcifying epithelial odontogenic tumor? *Head Neck Pathol*, 13(3), 2019, 9

D. 学会発表

(3) 一般演題

- 1) Harada F, Uehara O, Morikawa T, Hiraki D, Onishi A, Takai R, Toraya S, Yoshida K, Sato J, Nishimura M, Shimo T, Nagayasu H and Abiko Y. Effect of *Porphyromonas gingivalis* LPS on Kidney in Senescence-accelerated Mice, 97th IADR, Vancouver, CA, 2019, 6
- 2) Onishi A, Yoshida K, Hiraki D, Morikawa T, Harada F, Takai R, Uehara O, Sato J, Nishimura M and Abiko Y. Expression of periodontal ligament specific genes in epithelial-mesenchymal co-culture system, 97th IADR, Vancouver, CA, 2019, 6
- 3) Morikawa T, Uehara O, Harada F, Hiraki D, Onishi A, Takai R, Yoshida K, Sato J, Nishimura M, Chiba I, Michikawa M and Abiko Y. Genome-wide Analysis of Dementia-related Genes in Mouse Hippocampus by *P. gingivalis* -LPS, 97th IADR, Vancouver, CA, 2019, 6

2. 全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 草間 薫: 加齢に伴う口腔環境の変化と全身疾患への影響, 歯周病とがん. 第73回日本栄養食糧学会, 静岡, 2019, 5

(3) 一般演題

- 1) 森川哲郎, Adhikari Bhoj Raj, 植原 治, 平木大地, 大西 綾, 吉田光希, 佐藤 惇, 西村学子, 千葉逸朗, 安彦善裕. Involvement of DUSP4 in betel-quid related oral cancer. 第108回日本病理学会総会, 東京, 2019, 5
- 2) 宮崎裕司, 星野 都, 金田朋久, 西村学子, 菊池建太郎, 草間 薫. アセトアルデヒドが口腔上皮細胞に及ぼす影響. 第61回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2019, 10
- 3) 星野 都, 金田朋久, 井上ハルミ, 菊池建太郎, 福田正勝, 井上勝元, 坂下 英, 坂下英明, 草間 薫. エナメル上皮腫から扁平上皮癌への悪性転化を生じたと考えられる1例. 第108回日本病理学会総会, 東京, 2019, 5
- 4) 金田朋久, 重松久夫, 奥 結香, 塩野隼也, 林宏泰, 小笠原悠大, 星野 都, 菊池建太郎, 草間 薫, 坂下英明. 経過観察中に癌化が認められた口腔白板症の臨床病理学的検討. 第37回日本口腔科学会総会・学術集会, 埼玉, 2019, 4
- 5) 星野 都, 金田朋久, 宮崎裕司, 西村学子, 菊池建太郎, 坂下英明, 草間 薫. 口腔粘膜上皮の角化異常における関連タンパクの発現について. 第12回日本口腔検査学会, 第30回日本臨床口腔病理学会, 第29回日本口腔内科学会, 第32回日本口腔診断学会, 合同学術大会, 東京, 2019, 9
- 6) 瀧澤将太, 鈴木正二, 原八重子, 菊池建太郎, 草間 薫, 坂下英明. 舌下面に発生した口腔リンパ上皮性嚢胞の1例. 第37回日本口腔科学会総会・学術集会, 埼玉, 2019, 4

E. その他の研究会、講演など

- 1) 草間 薫: 口腔がんの研究からみえてきたこと. 北足立歯科医師会学術講演会, 鴻巣, 埼玉, 2019, 10
- 2) 草間 薫: 口腔がんの研究を通じて分かってきた事. 日本大学歯学部同窓会愛媛県支部学術講演会, 松山, 愛媛, 2019, 12

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 菊池建太郎: 基盤研究(C) ヒト唾液腺腫瘍における Epstein-Barr Virus の関与 (2019-04-01~2022-03-31)

薬理学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) "Imanari K, Hashimoto M, Wakabayashi H, Okudaira N, Bandow K, Nagai J, Tomomura M, Tomomura A, Uesawa Y, Sakagami H.", Quantitative Structure-Cytotoxicity Relationship of Azulene Amide Derivatives. , "Anticancer Res.39, 3507-3518", 2019, 7
- 2) "Sato K, Sato K, Imaizumi-Ohashi Y, Yokoi-Hayakawa M, Fukada T and Seo Y", "Rat mandibular condyle and fossa grew separately then unified as a single joint at 20 days old, which was the weaning age", "Journal of Oral Sciences, Vol. 62, No. 2, 197-201.", 2020, 3

D. 学会発表

1. 国際学会

(2) シンポジウム

- 1) Kazunori Adachi, Naoya Hasegawa, Takako Tsuchiya, Misato Yugawa, Au Sasaki, Naoto Suda, Effects of TRPV1 antagonism on relieving orthodontic force induced pain, 5th SfN satellite on Orofacial Functions: From Neural Mechanisms to Rehabilitation, Chicago, 2019, 10

(3) 一般演題

- 1) Kazunori Adachi, Naoya Hasegawa, Takako Tsuchiya, Misato Yugawa, Au Sasaki, Naoto Suda, Potential role of TRPV1 antagonism for relieving orthodontic force induced pain, Neuroscience 2019, Chicago, 2019, 10
- 2) Misato Yugawa, Takako Tsuchiya, Naoya Hasegawa, Au Sasaki, Naoto Suda, Kazunori Adachi, The effect of orthodontic treatment on the excitability of the trigeminal ganglion, Neuroscience 2019, Chicago, 2019, 10

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 奥平准之, TRPV1 (Transient receptor potential vanilloid 1) と P2X receptor の慢性疼痛統制機構の解明, 第 38 回明海歯科医学会, 埼玉, 2019, 6
- 2) 機械的刺激に対する歯根膜感覚の脳皮質情報処理機構について, 第 38 回明海歯科医学会, 埼玉, 2019, 6
- 3) 田島雅道, ビスホスホネートはオートファジーの流れを阻害することで骨芽細胞

- 死を誘導している, 第 61 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2019, 10
- 4) 大野雄太, 佐藤慶太郎, 柏俣正典, 雄性 NOD マウスにおける涙腺炎発症と涙液分泌低下の関連性, 第 61 回歯科基礎医学会, 東京, 2019, 10
 - 5) 湯川未郷, 歯の移動における三叉神経節サテライトグリアの GFAP 活性, 第 39 回明海歯科医学会, 埼玉, 2019, 10
 - 6) 湯川未郷, 土屋隆子, 長谷川尚哉, 佐々木会, 安達一典, 須田直人, 三叉神経節サテライトグリアの GFAP 活性に対する矯正治療の影響, 第 78 回日本矯正歯科学会学術大会, 長崎, 2019, 11
 - 7) 大野雄太, 佐藤慶太郎, 柏俣正典, 雄性 NOD マウスにおける涙液分泌低下に関連する因子の探索, 第 93 回日本薬理学会, 横浜, 2020, 3
 - 8) 安達一典, 長谷川尚也, 湯川未郷, 土屋隆子, 佐々木会, 須田直人, 歯の移動に伴う疼痛への TRPV1 の関与, 第 93 回日本薬理学会, 横浜, 2020, 3
 - 9) 佐藤慶太郎, 佐藤かおり, 大橋好偉, 早川実佳, 深田俊幸, 瀬尾芳輝, SD ラット顎関節における MRI を用いた生後発育の解析, 第 97 回日本生理学会, 別府, 2020, 3

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 大野雄太, 佐藤慶太郎, 柏俣正典, 涙腺炎発症後の雄性 NOD マウスにおける AQP5 および YAP の発現の検討, 第 135 回日本薬理学会近畿部会, 岐阜, 2019, 6
- 2) 湯川未郷, 土屋隆子, 長谷川尚哉, 佐々木会, 安達一典, 須田直人, 矯正力の負荷によって引き起こされる三叉神経節の興奮性, 第 140 回日本薬理学会関東部会, 東京, 2019, 7
- 3) 長谷川尚哉, 佐々木会, 土屋隆子, 須田直人, 安達一典, 歯の移動に伴う炎症性サイトカイン発現への TRPV1 の関与, 第 140 回日本薬理学会関東部会, 東京, 2019, 7

E. その他の研究会、講演など

- 1) Fumi Yoshida, Participation of TRPV1 in the tooth movement-related pain, 2019 SCRP, Tokyo, 2019, 8
- 2) 長谷川尚哉, 湯川未郷, 土屋隆子, 須田直人, 安達一典, 歯の移動に伴う炎症性サイトカイン発現への TRPV1 拮抗薬の影響, 第 13 回三叉神経領域の感覚-運動総合機能研究会, 長野, 2019, 12
- 3) 土屋隆子, 湯川未郷, 長谷川尚哉, 須田直人, 安達一典, 歯の移動にともなう疼痛に対する 2 種の歯科用レーザーの鎮痛効果と温度変化との関連性, 第 13 回三叉神経領域の感覚-運動総合機能研究会, 長野, 2019, 12

総合臨床歯科学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 本木萌洋, 溝部健一, 川邊好弘、鈴木玲爾、荒木久生, 明海大学 PDI 埼玉歯科診療所における新来患者(80 歳以上)の欠損状態と咬合支持に関する統計的観察, 日本口腔診断学会誌, 2019, 10
- 2) 川田朗史、松村正晃、昔農直美、田所瑞希、岡田知之、渡辺裕美、井上瑛弘、三木朱里、長谷川彰彦、村上幸生, ”明海大学歯学部附属明海大学病院ドライマウス外来の過去 8 年間の来院患者動向調査”, 日本口腔診断学会誌 32 巻 185-189, 2019, 6

3. 症例報告

- 1) 溝部健一, 荒木久生, 根面被覆の術式選択に CBCT を応用した一症例, 日本歯周病学会会誌, 2019, 12

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 井上瑛弘、川田朗史、松村正晃、昔農直美、田所瑞希、下山大慈、香村亜希子、岡田知之、渡辺裕美、三木朱里、岡田典久、長谷川彰彦、荒木久生、村上幸生, 明海大学附属明海大学病院における過去 1 年間の新患の全身的既往歴調査, ”第 32 回日本口腔診断学会総会, 東京”, 2019, 9

歯科放射線学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 鬼頭慎司, 大高祐聖: Chapter2 歯および歯周組織の疾患. In: 歯科臨床における画像診断アトラス. 特定非営利活動法人日本歯科放射線学会 編, 第2版, 医歯薬出版, 東京, pp57, 2020, 3
- 2) 鬼頭慎司, 酒井(井澤)真希: Chapter2 歯および歯周組織の疾患. In: 歯科臨床における画像診断アトラス. 特定非営利活動法人日本歯科放射線学会 編, 第2版, 医歯薬出版, 東京, pp67-68, 2020, 3

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 東金由莉, 高橋伸年, 鬼頭慎司, 嶋田 淳, 須田直人, 佐々木会, 大塚雄一郎, 上里忠成, 川尻朱美, 山口浩司, 園川拓哉, 小澤智宣, 虻川東嗣: Short lingual osteotomy を施行した骨格性下顎前突症症例における術後安定性と内側翼突筋の三次元評価. 日本顎変形症学会雑誌 29(4), 269-279, 2019, 12
- 2) 高橋信生, 小澤智宣, 高橋伸年, 小松 真, 鬼頭慎司, 奥村泰彦: DEMOT 法を用いたパノラマ X 線画像での焦点サイズと拡大率の影響. 歯科放射線 59(2), 75-83, 2020, 3

D. 学会発表

2. 全国学会

(1) 特別講演(教育講演)

- 1) 大高祐聖, 原田康雄, 井澤真希, 岩脇淳志, 浅見瑠璃, 石井 猛, 坂 英樹, 奥村泰彦, 鬼頭慎司: 携帯型口内法エックス線発生装置における後方散乱線減弱シールドの効果について. 第2回日本放射線安全管理学会・日本保健物理学会合同大会, 仙台. 2019. 12
- 2) 鬼頭慎司: 口腔顎顔面領域における ^{18}F -FDG 集積-非特異的集積を中心に-. 第13回口腔顎顔面核医学フォーラム学術集会, 川越市. 2019. 4

(3) 一般演題

- 1) 佐藤健児, 浅海利恵子, 鈴木まどか, 河合泰輔, 鬼頭慎司: ICRP Publication 135 の概説-歯科X線撮影を中心に-. 日本歯科放射線学会第60回学術大会, 東京. 2019. 6
- 2) 大高 祐聖, 原田 康雄, 井澤 真希, 岩脇 淳志, 浅見 瑠璃, 石井 猛, 坂 英樹, 奥村 泰彦, 鬼頭 慎司: 携帯型口内法X線撮影における撮影補助具による術者

- 被ばくの低減. 日本歯科放射線学会第 60 回日本歯科放射線学術大会, 東京.
2019. 6
- 3) 根岸徹, 原田康雄, 鬼頭慎司, 奥村泰彦, 小倉泉, 加藤洋: 歯科口内法用 X 線装置に対応した半導体 X 線測定器の開発. 日本歯科放射線学会第 60 回学術大会, 東京. 2019. 6
 - 4) 浅見瑠璃, 網干博文, 岩脇淳志, 石井猛, 大高祐聖, 小高研人, 阿部伸一, 坂 英樹: マイクロ CT を用いた上顎小白歯の年齢推定法の精度の比較. 第 61 回歯科基礎医学会学術大会, 東京. 2019. 10
 - 5) 岩脇淳志, 大高祐聖, 浅見瑠璃, 石井猛, 坂 英樹: 携帯型 X 線発生装置使用時の水晶体・手指被曝に関する研究. 第 61 回歯科基礎医学会学術大会, 東京. 2019. 10
 - 6) 岩脇淳志, 大高祐聖, 浅見瑠璃, 石井猛, 並木修司, 網干博文, 坂 英樹: 携帯型 X 線発生装置使用時の円柱ファントムと顎骨ファントムの違いによる被曝線量の比較. 日本法歯科医学会第 13 回学術大会, 広島. 2019. 11
 - 7) 大高祐聖, 井澤真希, 岩脇淳志, 浅見瑠璃, 石井 猛, 坂 英樹, 鬼頭慎司: 撮影補助具による歯科的個人識別時の術者被曝低減について. 日本法歯科医学会第 13 回学術大会, 広島. 2019. 11
 - 8) 大高祐聖, 井澤真希, 小澤智宣, 高橋伸年, 鬼頭慎司: 内容成分が変化した下顎骨線維性骨異形成症の一例. 第 24 回臨床画像大会, 北九州市. 2019. 11

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 石井 猛, 大高祐聖, 岩脇淳志, 浅見瑠璃, 坂 英樹: 携帯型 X 線発生装置使用時におけるファントムの種類による術者被曝の比較. 第 88 回日本法医学会学術関東地方集会, 東京. 2019. 10

E. その他の研究会、講演など

- 1) 鬼頭慎司, 高橋伸年, 小澤智宣, 大高祐聖, 井澤真希, 齊藤嘉大: 放射線って何? 体の中を探検できるんだ!. 子ども大学にしているま, 坂戸市. 2019. 9
- 2) 鬼頭慎司, 高橋伸年, 小澤智宣, 大高祐聖, 井澤真希, 齊藤嘉大: 第 7 回顎口腔領域エックス線検査に対する被ばく線量測定研修会. 日本歯科放射線学会, 坂戸市. 2020. 1

口腔顎顔面外科学(第1分野)

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) Hiroshi Sakagami, Taihei Watanabe, Tomonori Hoshino, Naoto Suda, Kazumasa Mori, Toshikazu Yasui, Naoki Yamauchi, Harutsugu Kashiwagi, Tsuneaki Gomi, Takaaki Oizumi, Junko Nagai, Yoshihiro Uesawa, Koichi Takano and Yoshiaki Sugita: Recent Progress of Basic Studies of Natural Products and Their Dental Application. In Biological Efficacy of Natural and Chemically Modified Products against Oral Inflammatory Lesions. Hiroshi Sakagami. Medicines, pp159-187, 2019

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 東金 由莉, 佐々木 会, 大塚 雄一郎, 上里 忠成, 川尻 朱美, 山口 浩司, 園川 拓哉, 小澤 智宣, 虻川 東嗣, 高橋 伸年, 鬼頭 慎司, 嶋田 淳, 須田 直人: Short lingual osteotomy を施行した骨格性下顎前突症症例における術後安定性と内側翼突筋の三次元評価. 日本顎変形症学会雑誌 29 269-279, 2019
- 2) Masahiko Kobayashi, Shoichi Nihonmatsu, Takahiro Okawara, Hiroyuki Onuki, Hiroshi Sakagami, Hiroshi Nakajima, Hiroyuku Takeishi, Jun Shimada: Adhesion and Proliferation of Osteoblastic Cells on Hydroxyapatite-dispersed Ti-based Composite Plate. In Vivo 33 1067-1079, 2019

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 小松いくも, 虻川東嗣, 園川拓哉, 嶋田淳: 顎矯正手術後における早期の経口摂取が術後回復へ与える影響の評価. 第207回日本口腔外科学会関東支部学術集会, 2019, 5
- 2) 森 一将, 松本安吏, 藤原敬子, 嶋田 淳: 舌腫瘍の手術直後に急性心筋梗塞を発症した症例の臨床経験. 第73回日本口腔科学会学術集会, 2020, 4
- 3) 松本安吏, 森 一将, 藤原敬子, 嶋田 淳: 当科における80歳以上の入院症例の臨床的検討. 第73回日本口腔科学会学術集会, 2020, 4
- 4) 山口 花, 森 一将, 廣井 美紀, 松本 安吏, 嶋田 淳, 大森 喜弘: 4-nitroquinoline 1-oxide 誘発マウス舌癌における T 細胞および NK 細胞の抗腫瘍作用. 第61回歯科基礎医学会学術大会 2019, 10

- 5) 森 一将, 廣井 美紀, 松本 安吏, 嶋田 淳, 大森 喜弘: マウス腫瘍モデルにおけるインターフェロン誘導性ケモカインの抗腫活性. 第 61 回歯科基礎医学会学術大会 2019, 10
- 6) 森 一将, 廣井美紀, 松本安吏, 嶋田 淳, 大森喜弘: 口腔癌におけるインターフェロン誘導性ケモカインの機能解析. 第 64 回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会 2019, 10
- 7) 藤原敬子, 森一将, 藤田耕太郎, 神谷美保子, 松本安吏, 嶋田淳: 慢性 GVHD 患者に発生した口腔内多発性扁平上皮癌の 1 例. 第 64 回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会 2019, 10
- 8) 本多美奈子, 吉野朝子, 山崎美加, 丸たず子, 森 一将, 藤原敬子, 齋藤翔, 霧島正浩, 嶋田淳: 経鼻経管栄養チューブのコネクト部位における細菌付着と効果的除菌の検証. 第 15 回歯科・口腔外科看護師研究会 2019, 10
- 9) 森 一将, 高木沙央理, 大野由夏, 藤原敬子, 松本安吏, 青木竜平, 小長谷光, 長谷川彰彦, 嶋田 淳: 舌腫瘍手術の周術期に急性心筋梗塞を発症した 1 例. 第 28 回 日本有病者歯科医療学会総会・学術大会 2019
- 10) 藤原敬子, 森一将, 嶋田淳: シェーグレン症候群患者に併発した舌下型ガマ腫の 1 例. 第 28 回 日本有病者歯科医療学会総会・学術大会 2019
- 11) 松本安吏, 森 一将, 藤原敬子, 嶋田 淳: 過去 8 年間における 80 歳以上の入院症例の臨床的検討. 第 28 回 日本有病者歯科医療学会総会・学術大会 2019
- 12) 園川 拓哉, 虻川 東嗣, 小松 いくも, 嶋田 淳: 顎矯正手術直後の経口摂取患者に起こる下痢に関連する要因は何か?—パイロット研究—. 第 64 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2019, 10
- 13) 高木 雄介, 園川 拓哉, 田村 暢章, 龍田 恒康, 竹島 浩, 嶋田 淳: 掌蹠膿疱症治療を契機に発覚した顎骨内異物の 1 例. 第 64 回日本口腔外科学会総会学術・大会 2019, 10
- 14) 園川 拓哉, 龍田 恒康, 虻川 東嗣, 田村 暢章, 竹島 浩, 嶋田 淳: 高性能 PAEK 系ポリマーを用いたインプラント補綴にて咬合を回復した 1 症例. 第 23 回公益社団法人日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 2019, 11
- 15) 嶋田 淳, 園川 拓哉, 龍田 恒康: 上顎洞底挙上術後慢性副鼻腔炎を発症した 1 例. 第 64 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2019, 10
- 16) 田村 暢章, 竹下 玲, 大岡 貴史, 小林 真彦, 龍田 恒康, 安井 利一, 竹島 浩: 介護施設における早期体験臨床実習に対する学生アンケート調査. 第 30 回日本老年歯科医学会総会・学術大会 2019, 6
- 17) 田村 暢章, 松本 勝, 竹下 玲, 大岡 貴史, 小林 真彦, 北 邦宏, 松田 玲於奈, 安井 利一, 竹島 浩, 西條 光雅, 岡崎 由佳, 野澤 一郎太: 福祉と介護に対する学生実習への取り組みと口腔ケアに対する意識調査. 第 16 回日本口腔ケア学会総会・

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 虻川 東嗣：骨誘導因子溶出型吸収メッシュプレートの開発：プレクリニカルモデルへの展開，科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)，基盤研究 (C)，2019
- 2) 森 一将：前癌病変および扁平上皮癌における腫瘍関連マクロファージの分化誘導機構と機能解析．科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究 (C) 2019

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 森 一将：口腔癌に対するインターフェロン誘導性ケモカインの抗腫瘍作用の分子機構の解明． 宮田研究奨励金【A】研究 2019

口腔顎顔面外科学(第 2 分野)

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) "Hiroshi S, Hara Y, etc", Biological Efficacy of Natural and Chemically Modified Products against Oral Inflammatory Lesions, "MDPI, 77-86", 2019, 6
- 2) "坂下英明", サクシント口腔外科学第 4 版, 内山健志, 大関 悟 監, "4-25", 2019, 3
- 3) "坂下英明, 重松久夫", サクシント口腔外科学第 4 版, 内山健志, 大関 悟 監, "84-95", 2019, 3
- 4) "坂下英明", サクシント口腔外科学第 4 版, 内山健志, 大関 悟 監, "140-147", 2019, 3
- 5) "坂下英明, 井上勝元", サクシント口腔外科学第 4 版, 内山健志, 大関 悟 監, "148-149", 2019, 3
- 6) "坂下英明", サクシント口腔外科学第 4 版, 内山健志, 大関 悟 監, "150-153", 2019, 3
- 7) "坂下英明, 瀧澤将太", サクシント口腔外科学第 4 版, 内山健志, 大関 悟 監, "154", 2019, 3
- 8) "坂下英明, 坂下 英", サクシント口腔外科学第 4 版, 内山健志, 大関 悟 監, "157", 2019, 3
- 9) "坂下英明, 平良芙蓉子", サクシント口腔外科学第 4 版, 内山健志, 大関 悟 監, "158", 2019, 3
- 10) "坂下英明", サクシント口腔外科学第 4 版, 内山健志, 大関 悟 監, "159-160", 2019, 3
- 11) "坂下英明, 奥 結香", サクシント口腔外科学第 4 版, 内山健志, 大関 悟 監, "222-248", 2019, 3
- 12) "坂下英明, 奥 結香, 中山英二", サクシント口腔外科学第 4 版, 内山健志, 大関 悟 監, "249-269", 2019, 3
- 13) "坂下英明, 奥 結香", サクシント口腔外科学第 4 版, 内山健志, 大関 悟 監, "270-281", 2019, 3
- 14) "坂下英明, 重松久夫", サクシント口腔外科学第 4 版, 内山健志, 大関 悟 監, "424-431", 2019, 3
- 15) "坂下英明, 鈴木正二", サクシント口腔外科学第 4 版, 内山健志, 大関 悟 監, "440-441", 2019, 3
- 16) "坂下英明, 重松久夫", サクシント口腔外科学第 4 版, 内山健志, 大関 悟 監, "530-533", 2019, 3

- 17) “坂下英明,福田正勝”, サクシント口腔外科学第4版, 内山健志,大関 悟 監, “570-571”, 2019, 3
- 18) “坂下英明”, 子どもの口と顎の異常・病変 口の粘膜 編 一般社団法人 日本小児口腔外科学会 編著 編者代表 坂下英明, 2019, 8
- 19) “坂下英明”, 子どもの口と顎の異常・病変 歯と顎骨 編 一般社団法人 日本小児口腔外科学会 編著 編者代表 坂下英明, 2019, 11

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 坂下英明, 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 奥 結香, 原 八重子, 瀧澤将太, 川本幸寛, 大山嘉人, 平良芙蓉子, 坂下 英, 鈴木正二, 松木正直著「戦傷口腔外科学」講義録についての考察(その1), 日本歯科医史学会会誌第33巻第3号, 215-234., 2020, 3
- 2) 坂下英明, 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 奥 結香, 原 八重子, 瀧澤将太, 川本幸寛, 大山嘉人, 平良芙蓉子, 坂下 英, 鈴木正二, 松木正直著「戦傷口腔外科学」講義録についての考察(その2), 日本歯科医史学会会誌第33巻第3号, 215-234., 2020, 3
- 3) 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 星野 都, 菊池建太郎, 坂下英明, 上顎に発生した象牙質形成性幻影細胞腫の1例, 日本口腔外科学会雑誌第65巻第10号, 661-666., 2019, 7
- 4) 坂下英明, 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 奥 結香, 瀧澤将太, 川本幸寛, 大山嘉人, 鈴木正二, 著者直筆の訂正点が記載された「弓倉繁家著口腔外科(歯科外科)」についての考察,”日本歯科医史学会会誌第33巻第2号, 145-149.”, 2019, 9
- 5) 坂下英明, 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 奥 結香, 原八重子, 瀧澤将太, 川本幸寛, 大山嘉人, 平良芙蓉子, 坂下 英, 鈴木正二, 文献から見た明治5年から昭和47年の間の我が国口腔外科の歴史(V),”日本歯科医史学会会誌第33巻第2号, 180-196.”, 2019, 9
- 6) 坂下英明, 「顎義歯なくして顎外科なし」の精神が歯科医療を再興する(解説),”日本歯科技工学会雑誌(0914-7713)41巻1号, 8-14.”, 2020, 1
- 7) 坂下英明, 【関節脱臼-競技現場で何をすべきか-】脱臼・亜脱臼の診断と治療 顎関節脱臼(解説/特集),”臨床スポーツ医学(0289-3339)37巻3号, 284-287.”, 2020, 2

3. 症例報告

- 1) Kentaro Kikuchi, Toshitaka Nagao, Fumio Ide, Shota Takizawa, Hideaki Sakashita, Ichiro Tsujino, Tie-Jun Li, Kaoru Kusama, Palatal Polymorphous

Adenocarcinoma with High-Grade Transformation: A Case Report and Literature Review” *head and neck pathology*,13(2)131-139”,2019,6

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) Masakatsu FUKUDA and Hideaki SAKASHITA, The role of sterol regulatory element binding protein 1 (SREBP1) in the growth and progression of oral cancer , 第 78 回 日本癌学会総会・学術大会,2019,9
- 2) 星野都, 金田朋久, 井上ハルミ, 菊池建太郎, 福田正勝, 井上勝元, 坂下英, 坂下英明, 草間薫, エナメル上皮腫から扁平上皮癌への悪性転化を生じたと考えられる 1 例, 第 108 回日本病理学会総会,2019,5
- 3) 福田正勝, 塩野隼也, 金田朋久, 小笠原悠大, 林 宏泰, 坂下英明, 口腔癌における glutathione peroxidase enzyme 4 (GPX4)の役割 , 第 46 回 日本口腔科学会総会・学術大会,2019,4
- 4) 坂下英明, 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 奥 結香, 原八重子, 瀧澤将太, 川本幸寛, 大山嘉人, 平良芙蓉子, 坂下 英, 鈴木正二, 昭和 12 年の軍陣歯科学の講義内容と日本陸軍の軍陣歯科学についての考察, 第 47 回 日本歯科医史学会・学術大会,2019,9
- 5) 坂下 英明, 井上 勝元, 重松 久夫, 福田 正勝, 奥 結香, 原 八重子, 瀧澤 将太, 川本 幸寛, 大山 嘉人, 鈴木 正二, 最新歯科全書についての考察, 第 47 回 日本歯科医史学会・学術大会,2019,9
- 6) 宮田 勝, 坂下 英明, 白川 正順, 日本病院歯科口腔外科協議会雑誌について, 第 47 回 日本歯科医史学会・学術大会,2019,9
- 7) 林 宏泰, 千葉 忠成, 富山 希美, 今井 一志, 坂下 英明, 口腔癌細胞における MALT1 核移行ドメインの解析, 第 73 回 日本口腔科学会,2019,4
- 8) 三宅 言輝, 平良 芙蓉子, 小笠原 悠大, 天野 修, 坂下 英明, ラット舌下腺の筋上皮におけるアディポネクチンの局在・発現と糖尿病での変化, 第 73 回 日本口腔科学会,2019,4
- 9) 瀧澤 将大, 鈴木 正二, 原 八重子, 菊池 建太郎, 草間 薫, 坂下 英明, 舌下面に発生した口腔リンパ上皮性嚢胞の 1 例, 第 73 回 日本口腔科学会,2019,4
- 10) 金田 朋久, 重松 久夫, 奥 結香, 塩野 隼也, 林 宏泰, 小笠原 悠大, 星野 都, 菊池 建太郎, 草間 薫, 坂下 英明, 経過観察中に癌化が認められた口腔白板症の臨床病理学的検討, 第 73 回 日本口腔科学会,2019,4
- 11) 高木 純一郎, 宮田 勝, 釜本 宗史, 坂下 英明, 口腔内細菌の関与が疑われた再発性感染性心内膜炎の 1 例, 第 73 回 日本口腔科学会,2019,4
- 12) 高木 純一郎, 宮田 勝, 釜本 宗史, 坂下 英明, 口腔内細菌の関与が疑われた

- 再発性感染性心内膜炎の1例, 第73回 日本口腔科学会, 2019, 4
- 1 3) 釜本 宗史, 高木 純一郎, 名倉 功, 坂下 英明, 宮田 勝, 休日・時間外救急受診をした歯科口腔外科疾患患者の検討, 第73回 日本口腔科学会, 2019, 4
- 1 4) 高木 純一郎, 宮田 勝, 釜本 宗史, 坂下 英明, 段階的に治療をおこなった下顎骨骨折の1例, 第21回日口腔顎顔面外傷学会総会・学術大会, 2019, 11
- 1 5) 坂下 英明, 下顎矢状分割術発展の歴史, 第31回 小児口腔外科学会総会・学術大会, 2019, 11
- 1 6) 坂下 英明, 下顎矢状分割術発展の歴史, 第31回 小児口腔外科学会総会・学術大会, 2019, 11
- 1 7) 畠山 志野, 重松 久夫, 奥 結香, 平良 芙蓉子, 坂下 英明, 左側頬部異物迷入の1例, 第31回 小児口腔外科学会総会・学術大会, 2019, 11
- 1 8) 鈴木 円, 難波 祐一, 塚本 亮一, 坂下 英明, 小児の粘液嚢胞に対して微小開窓法を試みた2例, 第31回 小児口腔外科学会総会・学術大会, 2019, 11
- 1 9) 高山 史年, 谷野 弦, 本間 英孝, 坂下 英明, 貧困解消だけでは子どもの口腔内崩壊を防げない, 第31回 小児口腔外科学会総会・学術大会, 2019, 11
- 2 0) 馬越 誠之, 須賀 則幸, 小笠原 悠大, 坂下 英明, 上顎逆性埋伏中切歯に対して萌出誘導を選択した1例, 第31回 小児口腔外科学会総会・学術大会, 2019, 11
- 2 1) 松原 完也, 高木 純一郎, 宮田 勝, 釜本 宗史, 坂下 英明, 上下顎骨歯牙腫の摘出後に萌出誘導をおこなった1例, 第31回 小児口腔外科学会総会・学術大会, 2019, 11
- 2 2) 高木 純一郎, 宮田 勝, 釜本 宗史, 坂下 英明, 嶋 浩人, 両側上顎犬歯埋伏に対して開窓後に咬合誘導した1例, 第31回 小児口腔外科学会総会・学術大会, 2019, 11
- 2 3) 仲井 慎吾, 釜本 宗史, 高木 純一郎, 坂下 英明, 宮田 勝, 観血的整復固定術を施行した小児下顎骨骨折の1例, 第31回 小児口腔外科学会総会・学術大会, 2019, 11
- 2 4) 釜本 宗史, 高木 純一郎, 坂下 英明, 宮田 勝, 歯科口腔外科疾患で当院を時間外救急受診した小児患者の検討, 第31回 小児口腔外科学会総会・学術大会, 2019, 11
- 2 5) 重松 久夫, 畠山 志野, 金田 朋久, 奥 結香, 菊池 建太郎, 坂下 英明, 基底細胞癌症候群における長期経過観察の重要性について, 第31回 小児口腔外科学会総会・学術大会, 2019, 11
- 2 6) 星野 都, 金田 朋久, 井上 ハルミ, 菊池 建太郎, 福田 正勝, 井上 勝元, 坂下 英, 坂下 英明, 草間 薫, エナメル上皮腫から扁平上皮癌への悪性転化を生じたと考えられる1例, 第108回 日本病理学会総会, 2019, 5

- 27) 鈴木 円, 菊池 建太郎, 草間 薫, 坂下 英明, 上顎側切歯部の過剰埋伏歯に由来した含歯含歯性嚢胞の1例, 第29回 日本口腔内科学会学術大会, 2019, 11, 9
- 28) 星野 都, 金田 朋久, 宮崎 裕司, 西村 学子, 菊池 建太郎, 坂下 英明, 草間 薫, 口腔粘膜上皮の角化異常における関連タンパクの発現について(英語), 第29回 日本口腔内科学会学術大会, 2019, 9

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 福田正勝, 大森 喜弘, 坂下英明, 学術研究助成基金助成金 基盤 (C), 日本学術振興会, 2019, 4

高齢者歯科学

D. 学会発表

2. 全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 田村暢章, 外傷後のインプラント治療と今後の課題について, ”公益社団法人 日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部 学術シンポジウム「第 10 回記念大会 全研修施設発表会」(東京)”, 2019, 8

(3) 一般演題

- 1) 田村暢章、松本 勝、竹下 玲、大岡貴史、小林真彦、北 邦宏、松田玲於奈、安井利一、竹島 浩, 福祉と介護に対する学生実習への取り組みと口腔ケアに対する意識調査, 第 16 回日本口腔ケア学会総会・学術大会 (名古屋), 2019, 4
- 2) 田村暢章, 竹下 玲, 大岡貴史, 小林真彦, 龍田恒康, 安井利一, 竹島 浩, 介護施設における早期体験臨床実習に対する学生アンケート調査(第 2 報), 日本老年歯科医学会第 30 回学術大会 (仙台), 2019, 6
- 3) 坂上 宏、中谷儀一郎、小川由香里、白戸亮吉、上田大輔、延澤忠真、中谷祥恵、古旗賢二、松田玲於奈、田村暢章、竹島 浩, X 線照射誘導性細胞傷害に対する抗酸化剤の保護効果の測定法の検討, 第 140 回日本薬理学会関東部会 (東京), 2019, 7
- 4) 鈴木龍一郎, 田村暢章, 坂上 宏, 竹島 浩, 水野加寿, 全自動アミノ酸分析計を用いた唾液及び日本酒の成分分析: 水中運動の効果, 第 59 回日本臨床化学会年次学術集会 (仙台), 2019, 9
- 5) 高木雄介、園川拓哉、田村暢章、龍田恒康、竹島 浩、 嶋田 淳, 掌蹠膿疱症治療を契機に発覚した顎骨内異物の 1 例, 第 64 回日本口腔外科学会総会・学術大会 (札幌), 2019, 10
- 6) 坂上 宏, 中谷儀一郎, 小川由香里, 白戸亮吉, 上田大輔, 延澤忠真, 中谷祥恵, 古旗賢二, 松田玲於奈, 田村暢章, 刀祢重信, 坂東健二郎, 友村美根子, 友村明人, 竹島 浩, 鬼頭慎司, X 線照射誘発性 PC12 神経細胞傷害に及ぼす NGF の保護効果, 第 141 回日本薬理学会関東部会 (東京), 2019, 10
- 7) 園川拓哉、龍田恒康、虻川東嗣、田村暢章、竹島 浩、嶋田 淳, 高性能 PAEK 系ポリマーを用いたインプラント補綴にて咬合を回復した 1 症例, 第 23 回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 (茨城), 2019, 12

歯科麻酔学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 飯島毅彦, 今村佳樹, 大井良之, 大野由夏, 岡俊一, 岡田明子, 河原博, 小長谷光, 高木沙央理, 谷口省吾, 森本佳成. 歯科麻酔・生体管理学第2版, 学建書院. 2020.

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Shimada A, Ishigaki S, Matsuka Y, Komiyama O, Torisu T, Oono Y, Sato H, Naganawa T, Mine A, Yamazaki Y, Okura K, Sakuma Y, Sasaki K. Effects of exercise therapy on painful temporomandibular disorders. J Oral Rehabil. 46(5),475-481,2019. (IF: 2.341)
- 2) 小長谷光, 大野由夏, 高木沙央理, 今村敏克. 温熱刺激ならびに圧刺激による疼痛測定装置の開発. 麻酔・集中治療とテクノロジー2019.
- 3) 早川華穂, 高木沙央理, 高島恵子, 松本勝洋, 松村真由美, 河野亮子, 安藤慎之介, 大野由夏, 小長谷光. 精神性発汗測定を用いた歯科治療のストレス評価. 明海歯科医学. 49巻1号, Page8-14, 2020.

2. 総説

- 1) 大野由夏, 小長谷光. diffuse noxious inhibitory controls(DNIC)と conditioned pain modulation(CPM) その概要と CPM 評価法. 日本ペインクリニック学会誌. 26巻2号, Page93-100, 2019.
- 2) 大野由夏. 内因性疼痛調節機構の解明とその臨床応用の可能性 動物からヒトへ急性および慢性疼痛コントロールを目指したトランスレーショナルリサーチの軌跡. 日本歯科麻酔学会雑誌. 47巻2号, Page25-33, 2019.

3. 症例報告

- 1) 大野由夏, 高木沙央理, 市村葉, 横瀬敏志, 藤巻高光, 井手康雄, 長坂浩, 小長谷光. 経穴の半導体レーザー照射により下行性疼痛抑制系が賦活化され三叉神経痛の誘発痛が軽減したと考えられた一症例. 日本レーザー治療学会誌. 18巻2号, Page36-40, 2019.

C. その他の刊行物など

- 1) 大野由夏, 小長谷光. Conditioned pain modulation(CPM)と Pain catastrophizing

scale(PCS)を用いた術後痛予測. ペインクリニック. 41 巻 1 号, Page9-21, 2020.

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Takashima K, Oono Y, Takagi S, Makino K, Nagasaka H, Wang K, Arendt-Nielsen L, Kohase H. Acute post-operative pain after orthognathic surgery could be predicted by conditioned pain modulation (cpm) and pain catastrophizing scale (pcs)-magnification. The 11th Congress of the European Pain Federation EFIC, 4-7, September 2019, Valencia, Spain.
- 2) Matsumoto K, Oyake H, Takagi S, Oono Y, Arendt-Nielsen L, Kohase H. Pain assessment on the tongue of rat by the observation of spontaneous behavior and responses to mechanical stimulation. The 11th Congress of the European Pain Federation EFIC, 4-7, September 2019, Valencia, Spain.

2. 全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 小長谷光. 未来の歯科麻酔学研究. 痛み・鎮静法・全身麻酔に関連した研究機器とシステム開発の概要. 第 47 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会. 2019 年 10 月 25~27 日, 岡山コンベンションセンター, 岡山, 岡山.

(3) 一般演題

- 1) 大野由夏, 高木沙央理, 井上勝元, 原八重子, 坂下英明, 小長谷光. 抗血小板薬内服継続下に舌部分切除術施行後出血により輪状甲状膜穿刺を要した一症例. 第 29 回(一社)日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 2020 年 2 月 28~3 月 1 日, 神戸国際会議場, 神戸, 兵庫.
- 2) 鈴木史人, 小長谷光, 高野裕史, 大野由夏, 高木沙央理, 泉幸江, 福田雅幸. 結節性硬化症患者に対する周術期管理. 第 29 回(一社)日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 2020 年 2 月 28~3 月 1 日, 神戸国際会議場, 神戸, 兵庫.
- 3) 小長谷光, 大野由夏, 今村敏克. 温熱刺激ならびに圧刺激による疼痛測定装置の開発. 第 37 回日本麻酔・集中治療テクノロジー学会学術大会, 2019 年 11 月 29~30 日, 大阪大学中之島センター佐治敬三メモリアルホール, 大阪, 大阪.
- 4) 河野亮子, 高島恵子, 上杉典子, 松本勝洋, 小林克江, 牧野兼三, 高木沙央理, 大野由夏, 小長谷光. 術前の設定レート変更による電磁干渉対策を行ったペースメーカー装着の全身麻酔管理経験. 第 36 回日本障害者歯科学会総会および学術大会. 2019 年 11 月 22~24 日, 長良川国際会議場・岐阜都ホテル, 岐阜, 岐阜.
- 5) 小林克江, 牧野兼三, 吉田美香子, 星野倫範, 上田真里奈, 原真由美, 星島宏, 高木沙央理, 大野由夏, 小長谷光. 先天性表皮水疱症の麻酔管理下歯科治療.

- 第 36 回日本障害者歯科学会総会および学術大会．2019 年 11 月 22～24 日，長良川国際会議場・岐阜都ホテル，岐阜，岐阜．
- 6) 鈴木史人，高橋正人，大野由夏，高木沙央理，小長谷光．予期せぬ挿管困難を認めた Lennox-Gastaut 症候群患者にチューブエクステンジャー(TE)を用いて挿管しえた気道管理に関する検討．第 36 回日本障害者歯科学会総会および学術大会．2019 年 11 月 22～24 日，長良川国際会議場・岐阜都ホテル，岐阜，岐阜．
- 7) 高木沙央理，早川華穂，鈴木史人，大野由夏，小長谷光．静脈麻酔管理における覚醒時の精神性発汗変動パターン解析による前向き健忘阻害リスク評価．日本臨床麻酔学会第 39 回大会，2019 年 11 月 7～9 日，プリンスグランドリゾート軽井沢，軽井沢，長野．
- 8) 鈴木史人，久慈昭慶，大野由夏，高木沙央理，小長谷光．Pelizaeus-Merzbacher 病の患者の麻酔管理の検討．日本臨床麻酔学会第 39 回大会，2019 年 11 月 7～9 日，プリンスグランドリゾート軽井沢，軽井沢，長野．
- 9) 河野亮子，大野由夏，高島恵子，今村敏克，松本勝洋，松村真由美，上杉典子，早川華穂，坂田泰彦，安藤慎之介，高木沙央理，小林克江，牧野兼三，小長谷光．内因性疼痛調節機構測定機器プロトタイプの開発．第 47 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会．2019 年 10 月 25～27 日，岡山コンベンションセンター，岡山，岡山．
- 10) 高島恵子，大野由夏，松本勝洋，松村真由美，上杉典子，早川華穂，河野亮子，坂田泰彦，安藤慎之介，高木沙央理，長谷川彰彦，星島宏，長坂浩，小長谷光．Conditioned pain modulation と pain catastrophizing scale は顎変形症術後痛を予測する．第 47 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会．2019 年 10 月 25～27 日，岡山コンベンションセンター，岡山，岡山．
- 11) 小長谷光，今村敏克，高島恵子，松本勝洋，松村真由美，上杉典子，早川華穂，田島徹，高木沙央理，大野由夏，長谷川彰彦，星島宏，長坂浩，鈴木史人．Vital sensor S-DV/A&D ベッドサイドモニタ TM2590 を PaperChart で使用するためのモジュール作成．第 47 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会．2019 年 10 月 25～27 日，岡山コンベンションセンター，岡山，岡山．
- 12) 高木沙央理，早川華穂，原田達也，河野亮子，坂田泰彦，安藤慎之介，松村真由美，高島恵子，松本勝洋，上杉典子，星島宏，大野由夏，長谷川彰彦，小長谷光．静脈麻酔管理下歯科治療における精神性発汗量の変動を観察した慢性疲労症候群患者の 1 例．第 47 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会．2019 年 10 月 25～27 日，岡山コンベンションセンター，岡山，岡山．
- 13) 鈴木史人，大野由夏，高木沙央理，神谷清，小長谷光．医療連携に苦慮した腎機能障害を併発したコルネリア・デランゲ症候群患者の麻酔症例の検討．第 47 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会．2019 年 10 月 25～27 日，岡山

コンベンションセンター，岡山，岡山。

- 1 4) 早川華穂，高木 沙央理，高島 恵子，松本 勝洋，松村 真由美，上杉 典子，河野 亮子，坂田 泰彦，安藤 慎之介，大野由夏，佐々木 陽子，長谷川 彰彦，長坂 浩，小長谷 光精神性発汗測定を用いた歯科処置のストレス評価。第 47 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会。2019 年 10 月 25～27 日，岡山コンベンションセンター，岡山，岡山。
- 1 5) 星島宏，西澤秀哉，伊藤直樹，相崎邦雄，長坂浩，菊地公治，大野聖加，小林克江，牧野兼三，高木沙央理，大野由夏，小長谷 光。AirwayScope は Macintosh 型喉頭鏡に比べ気管挿管時の循環動態の変動を抑制する a systematic review。第 47 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会。2019 年 10 月 25～27 日，岡山コンベンションセンター，岡山，岡山。
- 1 6) 大野由夏，高木沙央理，市村葉，横瀬敏志，藤巻高光，井手康雄，長坂浩，小長谷光。ペインクリニック領域における LLLT 三叉神経痛の誘発痛が経穴の半導体レーザー照射により軽減した一例。第 31 回日本レーザー治療学会 2019 年 6 月 22～23 日，国際ファッションセンター (KFC Hall & Rooms)，東京，東京。
- 1 7) 高島恵子，大野由夏，高木沙央理，長坂浩，小長谷光。Conditioned pain modulation (CPM) と pain catastrophizing scale-拡大視 (PCS-magnification) は顎変形症術後の鎮痛剤内服期間を予測する。日本麻酔科学会第 66 回学術集会，2019 年 5 月 30 日～6 月 1 日，神戸ポートピアホテル・神戸国際展示場，神戸，兵庫。

3. 地方会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 大野由夏。DNIC と CPM を用いた痛みの評価法 基礎から臨床研究へのトランスレーショナルリサーチ。第 36 回関東臨床歯科麻酔懇話会，2019 年 6 月 29 日，創設百周年記念講堂，東京，東京。

(3) 一般演題

- 1) 松本勝洋，高島恵子，上杉典子，早川華穂，河野亮子，坂田泰彦，安藤慎之介，松村真由美，小林克江，牧野兼三，高木沙央理，大野由夏，長谷川彰彦，小長谷光。高度な肺高血圧症を有する Down 症患者に対する全身麻酔下歯科治療。第 36 回関東臨床歯科麻酔懇話会，2019 年 6 月 29 日，創設百周年記念講堂，東京，東京。

E. その他の研究会、講演など

- 1) 小長谷光。令和元年度地域保健医療計画に基づく疾患別講習会～心血管疾患～。2019 年 12 月 15 日，彩の国すこやかプラザ，与野，埼玉。
- 2) 小長谷光主催。第 17 回埼玉医大臨床麻酔ネットワーク，2019 年 12 月 21 日，

埼玉医大総合医療センター5階小講堂，川越，埼玉。

- 3) 高木沙央理，高島恵子，松本勝洋，早川華穂，上杉典子，松村真由美，河野亮子，安藤慎之介，永野崇信，大野由夏，小長谷光．健康成人におけるリリウム®による尿量測定．第17回埼玉医大臨床麻酔ネットワーク，2019年12月21日，埼玉医大総合医療センター5階小講堂，川越，埼玉。

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 研究代表者：大野由夏，研究分担者：小長谷 光，大上 沙央理．遷延性術後痛発症スクリーニング検査法の開発，18K08826，基盤研究(C)，2018-2020.

3. 宮田研究奨励金

- 1) 宮田研究奨励金（A），大野由夏，Temporal Summation、Offset Analgesia を用いた術後急性痛発症危険因子の解明.
- 2) 宮田研究奨励金（A），高木沙央理，精神性発汗量モニタリング法を用いた歯科治療によるストレスの定量的評価.

歯科法医学

C. その他の刊行物など

- 1) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains in Peleliu and Ngedbus Island, Republic of Palau in May to June 2019, Japan Association for Recovery and Repatriation of War Casualties, 2019, 6
- 2) Hideki Saka, Forensic anthropological report for HPO, The collection of human skeletal remains in Peleliu and Ngedbus Island, Republic of Palau May to June 2019, Historic Preservation Office, Republic of Palau, 2019, 6
- 3) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains in Peleliu Island, Republic of Palau in July 2019, Japan Association for Recovery and Repatriation of War Casualties, 2019, 7
- 4) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains in Peleliu Island, Republic of Palau in July 2019, Historic Preservation Office, Republic of Palau, 2019, 7
- 5) Hideki Saka, The treatment of Case Number '162' on the collection of human skeletal remains in Peleliu, Historic Preservation Office, Republic of Palau, 2019, 7
- 6) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains in Peleliu and Ngedbus Island, Republic of Palau in September 2019, Japan Association for Recovery and Repatriation of War Casualties, 2019, 10
- 7) Forensic anthropological another report of the collection of human skeletal remains in Peleliu Island, Republic of Palau in September 2019, Japan Association for Recovery and Repatriation of War Casualties, 2019, 10
- 8) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains in Peleliu and Ngedbus Island, Republic of Palau in September 2019 for HPO, Historic Preservation Office, Republic of Palau, 2019, 10
- 9) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the cremated human skeletal remains in Peleliu, Republic of Palau on December 2019, Japan Association for Recovery and Repatriation of War Casualties, 2019, 12
- 10) Hideki Saka, Forensic anthropological 2nd report of the collection of human skeletal remains in Angaur Island, Republic of Palau on December 2019, Japan

Association for Recovery and Repatriation of War Casualties, 2020,1

- 11) Hideki Saka, The short report of human skeletons in Omekang Island, Republic of Palau on December 2019, Japan Association for Recovery and Repatriation of War Casualties, 2020,1
- 12) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains in Peleliu, Republic of Palau on December 2019, Japan Association for Recovery and Repatriation of War Casualties, 2020,1

D. 学会発表

2. 全国学会

(1) 特別講演（教育講演）

- 1) 大高祐聖, 原田康雄, 井澤真希, 岩脇淳志, 浅見瑠璃, 石井 猛, 坂 英樹, 奥村泰彦, 鬼頭慎司, 携帯型口内法エックス線発生装置における後方散乱線減弱シールドの効果について, 第 2 回日本放射線安全管理学会 日本保健物理学会合同大会, 仙台, 2019, 12

(3) 一般演題

- 1) 大高祐聖, 原田康雄, 井澤真希, 岩脇淳志, 浅見瑠璃, 石井 猛, 坂 英樹, 奥村泰彦, 鬼頭慎司, 携帯型口内法 X 線撮影における撮影補助具による術者被ばくの低減, 日本歯科放射線学会第 60 回学術大会, 東京, 2019, 6
- 2) 浅見瑠璃, 網干博文, 岩脇淳志, 石井 猛, 大高祐聖, 小高研人, 阿部伸一, 坂 英樹, マイクロ CT を用いた上顎小白歯の年齢推定法の精度の比較, 第 61 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2019, 10
- 3) 岩脇淳志, 大高祐聖, 浅見瑠璃, 石井 猛, 坂 英樹, 携帯型 X 線発生装置使用時の水晶体・手指被曝に関する研究, 第 61 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2019, 10
- 4) 岩脇淳志, 大高祐聖, 浅見瑠璃, 石井 猛, 並木修二, 網干博文, 坂 英樹, 携帯型 X 線発生装置使用時の円柱ファントムと顎骨ファントムとの違いによる被曝線量の比較, 日本法歯科医学会第 13 回学術大会, 広島, 2019, 11
- 5) 大高祐聖, 井澤真希, 岩脇淳志, 浅見瑠璃, 石井 猛, 坂 英樹, 鬼頭慎司, 撮影補助具による歯科的個人識別時の術者被曝低減について, 日本法歯科医学会第 13 回学術大会, 広島, 2019, 11

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 石井 猛, 大高祐聖, 岩脇淳志, 浅見瑠璃, 坂 英樹, 携帯型 X 線発生装置使用時におけるファントムの種類による術者被曝の比較, 第 88 回日本法医学会学術関東地方集会, 東京, 2019, 10

E. その他の研究会、講演など

- 1) 坂 英樹, インプラント治療に必要な解剖学, 口腔インプラント生涯研修センター 第32回口腔インプラントセミナー, 名古屋, 2019,7
- 2) 坂 英樹, 大規模災害における歯科医師の役割, 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科特別講義, 鹿児島, 2019,11
- 3) 坂 英樹, 歯科保健, 東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科特別講義, 朝霞, 2019,11

社会健康科学講座

口腔衛生学分野

スポーツ歯学分野

障がい者歯学分野

基礎数学・統計学分野

口腔衛生学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 荒川浩久 (著/文 ; 編集)、竹下 玲 (著/文 ; 編集)、廣瀬公治 (著/文 ; 編集)、安井利一 (著/文 ; 編集), 生活と健康－測定と評価法－ 第6版, 株式会社学建書院, 2020, 3

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 深井智子, 望月 司, 松田昌文, 皆川真哉, 中野文夫, 吉川 賢, 竹下 玲, 河合裕直, 八木裕太, 田中 入, 草間 薫, 安井利一, "川越市における糖尿病に関わる医科歯科連携の試みに関して第一報－糖尿病連携手帳の記載項目での関連調査から－", 明海歯科医学 48 (1) : 1-7. 2019, 2019, 5
- 2) "Azuma T, Irie K, Watanabe K, Deguchi F, Kojima T, Obora A and Tomofuji T. ", Association between Chewing Problems and Sleep among Japanese Adults," Int J Dent, 8196410", 2019, 12
- 3) "Hada M, Azuma T, Irie K, Yonenaga T, Watanabe K, Deguchi F, Obora A, Kojima T and Tomofuji T. ", Periodontal Condition is Correlated with Deep and Subcortical White Matter Hyperintensity Lesions in Japanese Adults," Int J Environ Res Public Health 17(5), pii:E1694", 2020, 3

C. その他の刊行物など

- 1) 竹下 玲, タイトル ; チェアサイド Q&A [予防歯科の疑問]・第23回 ピロリ菌に有効な成分は、歯周病菌にも効果がある?, 歯科衛生士, 43 (11) : 23, 2019 ; (クインテッセンス出版株式会社) , 2019, 11

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) "Ekuni D, Fukuhara D, Irie K, Azuma T, Morita M", Clenching and Underweight Influence Onset of Crowding in University Students , "97th General Session & Exhibition of the IADR, バンクーバー, カナダ", 2019, 6

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) "神谷 菜々, 須永 昌代, 中禮 宏, 田邊 元, 松本 勝, 深井 智子, 安井 利一,

- 上野 俊明, 木下 淳博”, スポーツ歯科臨床に関するコンピュータシミュレーション教材の開発と有効性の検討(会議録), 第 30 回日本スポーツ歯科医学会, 2019, 6
- 2) ”北 邦宏, 松本 勝, 竹下 玲, 深井 智子, 宮澤 慶, 安井 利一”, マウスガードの厚さを確保するためのシート圧接法についての検討(第 3 報) シートの種類(会議録), 第 30 回日本スポーツ歯科医学会, 2019, 6
 - 3) ”北 邦宏, 松本 勝, 竹下 玲, 深井 智子, 宮澤 慶, 安井 利一”, マウスガードの厚さを確保するためのシート圧接法についての検討(第 3 報)シートの種類, 第 29 回日本スポーツ歯科医学会, 大阪府大阪市, 2019, 5
 - 4) ”北 邦宏, 松本 勝, 竹下 玲, 深井 智子, 宮澤 慶, 常岡 柚希, 安井 利一”, マウスガードの厚さを確保するためのシート圧接法についての検討(第 4 報) , スポーツ歯学 23 巻, 2020, 2
 - 5) ”田村暢章, 竹下 玲, 大岡貴史, 小林真彦, 龍田恒康, 安井利一, 竹島 浩”, 介護施設における早期体験臨床実習に対する学生アンケート調査(第 2 報), 第 30 回老年歯科医学会, 宮城県仙台市, 2019, 6
 - 6) ”宮澤 慶, 松本 勝, 竹下 玲, 深井智子, 北 邦宏, 杉山義祥, 安井利一”, 歯科大学校と歯科衛生士学校の学生におけるスポーツ歯学に関する興味・理解の比較, 第 29 回日本スポーツ歯科医学会, 大阪府大阪市, 2019, 5
 - 7) ”宮澤 慶, 松本 勝, 竹下 玲, 深井 智子, 北 邦宏, 杉山 義祥, 安井 利一”, 歯科大学校と歯科衛生士学校の学生におけるスポーツ歯学に関する興味・理解の比較(会議録), 第 30 回日本スポーツ歯科医学会, 2019, 6
 - 8) ”宮澤 慶, 松本 勝, 竹下 玲, 深井 智子, 北 邦宏, 杉山 義祥, 安井 利一”, 歯科大学校学生と歯科衛生士学校学生におけるスポーツ歯学に関する興味の比較, スポーツ歯学 23 巻, 2020, 2
 - 9) 望月 司、松田昌文、皆川真哉、深井智子、廣瀬 哲也、吉川 賢、中野文夫、河合裕直、八木裕太、竹下 玲、石岡 薫、安井利一、川越市における糖尿病に関わる医科歯科連携の試みに関して第 3 報, 第 62 回日本糖尿病学会、宮城県仙台市, 2019, 5
 - 1 0) 望月 司, 深井智子, 皆川真哉, 竹下 玲, 田中 入, 安井利一, 草間 薫, 川越市における糖尿病に関わる医科歯科連携の試み第 3 報~共働による調査研究の概要報告~, 第 68 回日本口腔衛生学会、滋賀県大津市, 2019, 5
 - 1 1) ”西條光雅, 竹下 玲, 深井 智子, 北 邦宏, 安井利一”, 特別養護老人ホーム入居高齢者における日常生活自立度と臼歯部咬合安定状況の関連について, 第 68 回日本口腔衛生学会、滋賀県大津市, 2019, 5
 - 1 2) ”田村暢章, 松本 勝, 竹下 玲, 大岡貴史, 小林真彦, 北 邦宏, 松田玲於奈, 安井利一, 西條光雅, 岡崎由佳, 野澤一郎太, 竹島 浩”, 福祉と介護に対する学生

実習への取り組みと口腔ケアに対する意識調査,第16回日本口腔ケア学会,
愛知県名古屋市,2019,4

E. その他の研究会、講演など

- 1) 竹下 玲, CAMBRATM による「う蝕管理プログラム」,松本歯科大学病院セミナー
(主催;松本歯科大学附属病院;於・松本歯科大学)、長野県松本市,2019,10
- 2) 竹下 玲, What is CAMBRATM? ~メカニズムから実践へ~,CAMBRA?定期予防管理
セミナー(主催;明海大学歯学部生涯研修部・協賛;株ヨシダ・株KDP/博報堂;
於・明海大学・朝日大学サテライトキャンパス)、東京都新宿区,2018,4.,2019,8
- 3) 竹下 玲, What is CAMBRATM?, YK-CAMBRA(TM)セミナー,YK-CAMBRA(TM)セミナー
(主催;株ヨシダ・株KDP/博報堂;於・株式会社ヨシダ仙台営業所),講演,
宮城県仙台市,2019,8
- 4) 竹下 玲, CAMBRATM による「う蝕管理とその予防」,埼玉歯科医師会・久喜歯科
医師会 研修会、埼玉県久喜市(於久喜総合文化会館),2020,1
- 5) 竹下 玲, CAMBRATM による「う蝕予防法」,DI 研修会(主催;明海大学 PDI 埼玉
歯科診療所;於・PDI 埼玉歯科診療所)、埼玉県入間市,2019,10
- 6) 竹下 玲, CAMBRA による「う蝕管理とその予防」,”本庄市児玉郡宙科医師会
障がい者歯科実地研修、埼玉県本庄市(於埼玉グランドホテル本庄)”,2020,1
- 7) 竹下 玲, What is CAMBRA?, YK-CAMBRA(TM)セミナー(主催;株ヨシダ・株KDP/
博報堂・仙台),2019,8
- 8) 竹下 玲, What is CAMBRA? ~メカニズムから実践へ~,CAMBRA?定期予防管理
セミナー(主催;明海大学歯学部生涯研修部・協賛;株ヨシダ・株KDP/博報堂・
新宿),2019,8
- 9) 宮澤 慶, スポーツと栄養と歯科,埼玉県歯科医師会研修会,さいたま市,2019,4
- 10) 宮澤 慶, スポーツマウスガード作製のポイント,埼玉県歯科医師会研修会,
坂戸市,2019,6
- 11) 宮澤 慶, スマイルクラス これからのむし歯予防,東大和市保健センタ
ー,2019,7
- 12) 宮澤 慶, スマイルクラス これからのむし歯予防,東大和市保健センタ
ー,2019,8
- 13) 宮澤 慶, スマイルクラス これからのむし歯予防,東大和市保健センタ
ー,2019,10
- 14) 宮澤 慶, スマイルクラス これからのむし歯予防,東大和市保健センタ
ー,2020,2
- 15) 竹下 玲, 川越市における糖尿病に関わる歯科医科連携の会による研究結果
~その意義と将来性~,糖尿病に関わる歯科医科連携の会・講演会;(共催;
糖尿病に関わる歯科医科連携の会・川越市医師会・川越市歯科医師会・埼玉県

糖尿病協会 小野薬品工業株式会社・アストラゼネカ株式会社；於・川越市医師会館)、埼玉県川越市, 2019, 8

16) 竹下 玲, 川越市における糖尿病に関わる歯科医科連携の会による研究結果～その意義と将来性～, 糖尿病に関わる歯科医科連携の会・2019年度学術大会, 2019, 9

17) 竹下 玲, 中高年の疾病予防・健康づくりと介護予防, 朝日大学歯学部, 講義(公衆衛生学・2年生対象), 岐阜県瑞穂市, 2019, 7

18) 入江 浩一郎, 平成29年度 長期海外派遣滞在費助成 海外派遣滞在研究者の報告, ”ウエスコ学術振興財団 令和元年研究発表会, 岡山”, 2020, 1

F. 研究助成金等の受入れ

2. その他の公的機関からの助成金

1) 深井 智子, 埼玉県高等学校等における歯科保健状況調査及び高校生の歯科保健に関する実態調査, 埼玉県学校保健会

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

1) 深井 智子, 糖尿病患者の口腔内に関する主観的評価とオーラルリテラシーに関する実態調査, 宮田奨励金 (A)

スポーツ歯学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 上野俊明, 木本一成, 鈴木浩司, 武田友孝, 前田芳信, 松本勝, 安井利一(編集), 要説 スポーツ歯科医学 第2版, 医学情報社, 2020, 3

C. その他の刊行物など

- 1) ”北 邦宏, 松本 勝, 竹下 玲, 深井 智子, 宮澤 慶, 常岡 柚希, 安井 利一”, マウスガードの厚さを確保するためのシート圧接法についての検討(第4報) フッ素樹脂シートの使用(会議録), スポーツ歯学 23 巻, 2020, 2
- 2) ”宮澤 慶, 松本 勝, 竹下 玲, 深井 智子, 北 邦宏, 杉山 義祥, 安井 利一”, 歯科大学校と歯科衛生士学校の学生におけるスポーツ歯学に関する興味・理解の比較, (会議録), スポーツ歯学 23 巻, 2020, 2

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) ”田村暢章, 松本 勝, 竹下 玲, 大岡貴史, 小林真彦, 北 邦宏, 松田玲於奈, 安井利一, 西條光雅, 岡崎由佳, 野澤一郎太, 竹島 浩”, 福祉と介護に対する学生実習への取り組みと口腔ケアに対する意識調査, 第16回日本口腔ケア学会, 愛知県名古屋市, 2019, 4
- 2) ”神谷 菜々, 須永 昌代, 中禮 宏, 田邊 元, 松本 勝, 深井 智子, 安井 利一, 上野 俊明, 木下 淳博”, スポーツ歯科臨床に関するコンピュータシミュレーション教材の開発と有効性の検討, 第30回日本スポーツ歯科医学会, 鹿児島県鹿児島市, 2019, 6
- 3) ”北 邦宏, 松本 勝, 竹下 玲, 深井 智子, 宮澤 慶, 安井 利一”, マウスガードの厚さを確保するためのシート圧接法についての検討(第4報) フッ素樹脂シートの使用, 第30回日本スポーツ歯科医学会, 鹿児島県鹿児島市, 2019, 6
- 4) ”宮澤 慶, 松本 勝, 竹下 玲, 深井 智子, 北 邦宏, 杉山 義祥, 安井 利一”, 歯科大学校と歯科衛生士学校の学生におけるスポーツ歯学に関する興味・理解の比較, 第30回日本スポーツ歯科医学会, 鹿児島県鹿児島市, 2019, 6

E. その他の研究会、講演など

- 1) 松本 勝, ラミネートスポーツマウスガード作製法, 埼玉県歯科医師会 スポーツ歯科医学研修会, 坂戸市(明海大学歯学部), 2019, 6

2) 松本 勝, スポーツと歯科 (3): 歯科疾患の予防, 日本スポーツ協会公認
スポーツデンティスト養成講習会, 東京都千代田区 (日本歯科医師会館), 2019, 7

障がい者歯科学

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 小林 克江, 牧野 兼三, 高木 沙央理, 大野 由夏, 小長谷 光, 先天性表皮水疱症の麻酔管理下歯科治療, 第 36 回日本障害者歯科学会総会・学術大会 (岐阜) 2019.11
- 2) 術前の設定レート変更による電磁干渉対策を行ったペースメーカー装着の全身麻酔管理経験, 河野 亮子, 高島 恵子, 上杉 典子, 松本 勝洋, 小林 克江, 牧野 兼三, 高木 沙央理, 大野 由夏, 小長谷 光, 第 36 回 日本障害者歯科学会総会・学術大会 (岐阜) 2019.11
- 3) 河野 亮子, 大野 由夏, 高島 恵子, 今村 敏克, 松本 勝洋, 松村 真由美, 上杉 典子, 早川 華穂, 坂田 泰彦, 安藤 槇之介, 高木 沙央理, 小林 克江, 牧野 兼三, 小長谷 光, 内因性疼痛調節機構測定機器プロトタイプ, 第 47 回日本歯科麻酔学会総会・学術大会 (岡山) 2019.10
- 4) 星島 宏, 西澤 秀哉, 伊藤 直樹, 相崎 邦雄, 長坂 浩, 菊地 公治, 大野 聖加, 小林 克江, 牧野 兼三, 高木 沙央理, 大野 由夏, 小長谷 光, AirwayScope は Macintosh 型喉頭鏡に比べ気管挿管時の循環動態の変動を抑制する a systematic review, 第 47 回日本歯科麻酔学会総会・学術大会 (岡山) 2019.10
- 5) 斎藤 智彦, 高橋 敏克, 内田茂則, 高木沙央里, 大野由夏, 小長谷光, 牧野兼三, 小林克江, paperChart ワークショップ, 第 47 回日本歯科麻酔学会総会・学術大会 (岡山) 2019.10

B. 学術論文

2. 総説

- 1) 古谷貴彦, 山内雅司, Non-semiregular Auslander-Reiten components of an artin algebra, 京都大学数理解析研究所, 数理解析研究所講究録, 2134, pp1-3, 2019, 11

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 古谷貴彦, 山内雅司, Auslander-Reiten translations and monomorphism categories, 日本数学会 2019 年度秋季総合分科会, 金沢, 2019, 9

総合臨床医学講座

内 科 学 分 野

耳 鼻 咽 喉 科 学 分 野

内科学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 川田朗史, 松村正晃, 昔農直美, 田所瑞希, 岡田知之, 渡辺裕美, 井上瑛弘, 三木朱里, 長谷川彰彦, 村上幸生: 明海大学歯学部附属明海大学病院ドライマウス外来の過去 8 年間の来院患者動向調査. 日本口腔診断学会雑誌, 32, 185-189, 2019.

2. 総説

- 1) 門倉弘志, 山崎崇秀, 加藤邑佳, 長谷川彰彦, 横瀬敏志: 骨細胞機能から考える骨組織への低出力レーザー照射の作用. 細胞, 51, 682-686, 2019.

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 井上瑛弘, 川田朗史, 松村正晃, 昔農直美, 田所瑞希, 下山大慈, 香村亜希子, 岡田知之, 渡辺裕美, 三木朱里, 岡田典久, 長谷川彰彦, 荒木久生, 村上幸生: 明海大学附属明海大学病院における過去 1 年間の新患の全身的既往歴調査. 第 32 回日本口腔診断学会学術大会, 東京, 2019 年 9 月.
- 2) 早川華穂, 高木沙央理, 高島恵子, 松本勝洋, 松村真由美, 上杉典子, 河野亮子, 坂田泰彦, 安藤慎之介, 大野由夏, 佐々木陽子, 長谷川彰彦, 長坂浩, 小長谷光: 精神的発汗測定を用いた歯科処置のストレス評価. 第 47 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 岡山, 2019 年 10 月.
- 3) 高島恵子, 大野由夏, 松本勝洋, 松村真由美, 上杉典子, 早川華穂, 河野亮子, 坂田泰彦, 安藤慎之介, 高木沙央理, 長谷川彰彦, 星島宏, 長坂浩, 小長谷光: Conditioned pain modulation と pain catastrophizing scale は顎変形症術後痛を予測する. 第 47 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 岡山, 2019 年 10 月.
- 4) 小長谷光, 今村敏克, 高島恵子, 松本勝洋, 松村真由美, 上杉典子, 早川華穂, 田島徹, 高木沙央理, 大野由夏, 長谷川彰彦, 星島宏, 長坂浩, 鈴木史人: Vital sensor S-DV/A&D ベッドサイドモニタ TM2590 を PaperChart で使用するためのモジュール作成. 第 47 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 岡山, 2019 年 10 月.
- 5) 高木沙央理, 早川華穂, 原田達也, 河野亮子, 坂田泰彦, 安藤慎之介, 松村真由美, 高島恵子, 松本勝洋, 上杉典子, 星島宏, 大野由夏, 長谷川彰彦, 小長谷光: 静脈麻酔管理下歯科治療における精神性発汗量の変動を観察した慢性疲労症候群患者の 1 例. 第 47 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会,

岡山，2019年10月。

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 松本勝洋，高島恵子，上杉典子，早川華穂，河野亮子，坂田泰彦，安藤槇之介，松村真由美，小林克江，牧野兼三，高木沙央理，大野由夏，長谷川彰彦，小長谷光：高度な肺高血圧症を有する Down 症患者に対する全身麻酔下歯科治療。第36回関東臨床歯科麻酔懇話会学術集会，東京，2019年6月。

耳鼻咽喉科学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) "Nomura T, Ishikawa J, Ohki M, Ohata A, Araki R, Kikuchi S", "Multifactorial analysis of local control and survival in patients with early glottic cancer", 2019 Aug 9. doi: 10.1002/lary.28240. [Epub ahead], 2019, 8

2. 総説

- 1) 野村 務 【耳鼻咽喉科領域の外傷をマスターする】外傷診療の心得と準備
JOHNS 35:526-528、(2019.05)

3. 症例報告

- 1) "野村 務, 大木 雅文, 大畑 敦, 菊地 茂", 耳介に発症した悪性末梢神経鞘腫瘍の1例, 頭頸部外科 29:59-64, 2019, 6
- 2) 症例報告, "Nomura T, Momose S, Takashima M, Kikuchi S.", "A case of neck xanthogranulomatous inflammation-suspected malignant tumor.", Clin Case Rep. 28:1323-1326. , 2019, 6
- 3) 杉木 司, 野村 務, 菊地 茂 症例をどうみるか 甲状腺癌の気管浸潤が疑われた気管癌の1例 JOHNS 35 : 1387-1389 , 2019.

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) 大木 雅文, 望月 慧, 堀越 友美, 北野 佑香, 杉本 裕彦, 杉木 司, 石川 淳一, 田中 是, 野村 務, 菊地 茂 先天性中耳奇形に対して施行した経外耳道的内視鏡下アブミ骨手術 第120回日本耳鼻咽喉科学会総会 2019/5/8 大阪

明海大学歯科医学総合研究所

Meikai University Research Institute of Odontology

(M-RIO)

明海大学歯科医学総合研究所(M-RIO)

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) Sakagami H, Special Issue: Biological Efficacy of Natural and Chemically Modified Products against Oral Inflammatory Lesions, Lightning Source. UK Ltd., 2019.6
- 2) 柴岡信一郎、渋井二三男、山下聖美、伊藤景、高野和彰、李容旭、名手久貴、近藤健史、坂上宏、友村美根子、大石隆介、神崎龍志、中井延美, 入門テキスト、はじめての情報・メディア・コミュニケーション リテラシー, 技術評論社、初版 ISBN 978-4-297-10491-7 C3055, 2019.4

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Watanabe N, Nodomi K, Koike R, Kato A, Takeichi O, Kotani AI, Kaneko T, Sakagami H, Takei M, Ogata Y, Sato S and Imai K, EBV LMP1 in gingival epithelium potentially contributes to human chronic periodontitis via inducible IL8 production. *In Vivo* 33(6):1793-1800, 2019. doi: 10.21873/invivo.11670. PMID: 31662504, 2019.11
- 2) Iijima Y, Bandow K, Sano M, Hino S, Kaneko T, Horie N and Sakagami H. In vitro assessment of antitumor potential and combination effect of classical and molecular-targeted anticancer drugs. *Anticancer Res* 39(12): 6673-6684, 2019. doi: 10.21873/anticancerres.13882. PMID: 31810932, 2019.12
- 3) Kobayashi M, Nihonmatsu S, Okawara T, Onuki H, Sakagami H, Nakajima H, Takeishi H, Shimada J, Adhesion and proliferation of osteoblastic cells on hydroxyapatite-dispersed Ti-based composite plate, *In Vivo* 33(4):1067-1079, 2019.7
- 4) Takao K, Hoshi K, Sakagami H, Shi H, Bandow K, Nagai J, Uesawa Y, Tomomura A, Tomomura M and Sugita Y, Further quantitative structure-cytotoxicity relationship analysis of 3-styrylchromones, *Anticancer Res* 40 (1): 87-95, 2020.1
- 5) Uchida S, Kobayashi K, Ohno S, Sakagami H, Kohase H, Nagasaka H, Induction of non-apoptotic cell death by adrenergic agonists in human oral squamous cell carcinoma cell lines, *Anticancer Res* 39(7): 3519-3529, 2019.7
- 6) Sakagami H, Introduction to the Special Issue: Biological Efficacy of Natural

- and Chemically Modified Products against Oral Inflammatory Lesions, Editorial, Medicines 2019, 6(2), 52 doi:10.3390/medicines6020052, 2019.4
- 7) Gul HI, Tugrak M, Gul M, Mazlumoglu S, Sakagami H, Gulcin I, Supuran CT, New phenolic Mannich bases with piperazines and their bioactivities. Bioorg Chem. 2019 PMID: 31226471 doi: 10.1016/j.bioorg.2019.103057. Epub 2019.6
- 8) Nagai J, Imamura M, Sakagami H and Uesawa Y, QSAR prediction model to search for compounds with selective cytotoxicity against oral cell cancer. Medicines 2019, 6(2), 4 <https://doi.org/10.3390/medicines6020045>, 2019.4
- 9) Nagai J, Shi H, Sezaki N, Yoshida N, Bandow K, Uesawa Y, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A, Takao K and Sugita Y., Quantitative structure-cytotoxicity relationship of 2-arylazolychromones and 2-triazolychromones. Anticancer Res 39(12): 6479-6488. doi: 10.21873/anticancerres.13862. PMID: 31810912, 2019.12
- 10) Uesawa Y, Nagai J, Shi H, Sakagami H, Bandow K, Tomomura A, Tomomura M, Endo S, Takao K and Sugita Y. Quantitative structure-cytotoxicity relationship of 2-styrylchromones. Anticancer Res 39(12): 6489-6498, doi: 10.21873/anticancerres.13863. PMID: 31810913, 2019.12
- 11) Imanari K, Hashimoto M, Wakabayashi H, Okudaira N, Bandow K, Nagai J, Tomomura M, Tomomura A, Uesawa Y, Sakagami H, Quantitative structure-cytotoxicity relationship of azulene amide derivatives, Anticancer Res 39(7): 3507-3518. 10.21873/anticancerres.13497. PMID: 31262875, 2019.7
- 12) Iguchi T, Kuroda M, Ishihara M, Sakagami H, Mimaki Y, Steroidal constituents isolated from the seeds of *Withania somnifera*, Nat Prod Res. 2019 Sep 20:1-6. doi: 10.1080/14786419.2019.1667351. [Epub ahead of print] PMID: 31538506, 2019.9
- 13) Orabi MAA, Orabi EA, Taniguchi S, Sakagami H, Yoshimura M, Amakura Y, Hatano T, Structures, NMR spectroscopic features, and cytotoxic properties of oligomeric hellinoyl (m-GO-m-GOG)-type ellagitannins from the galls of *Tamarix aphylla*, J Nat Prod. 2019 Oct 25;82(10):2682-2695, 2019.10
- 14) Tugrak M, Gul HI, Bandow K, Sakagami H, Gulcin I, Ozkay Y, Supuran CT, Synthesis and biological evaluation of some new mono Mannich bases with piperazines as possible anticancer agents and carbonic anhydrase inhibitors, Bioorg Chem. PMID: 31288135 DOI: 10.1016/j.bioorg.2019.103095 Epub, 2019.6
- 15) Yamali C, Gul HI, Ece A, Bua S, Angeli A, Sakagami H, Sahin E, Supuran CT, "Synthesis, biological evaluation and in silico modelling studies of 1,3,5-trisubstituted pyrazoles carrying benzenesulfonamide as potential

anticancer agents and selective cancer-associated hCA IX isoenzyme inhibitors, *Bioorg Chem.* 2019 PMID: 31499260 DOI: 10.1016/j.bioorg.2019.103222, 2019.8

- 1 6) Bilginer S, Gul HI, Erdal FS, Sakagami H, Levent S, Gulcin I, Supuran CT", Synthesis, cytotoxicities, and carbonic anhydrase inhibition potential of 6-(3-aryl-2-propenoyl)-2(3H)-benzoxazolones, *J Enzyme Inhib Med Chem.* 2019 Dec;34(1):1722-1729, 2019.12
- 1 7) Tatsuno S, Iguchi T, Kuroda M, Ishihara M, Sakagami H and Mimaki Y: A new and 23 known cardenolide glycosides from *Thevetia neriifolia* seeds and their cytotoxic activities against human oral carcinoma cell lines. *Natural Product Research.* Jan 22:1-6. doi: 10.1080/14786419.2020.1716352, 2020.1

C. その他刊行物など

- 1) Shi H and Sakagami H, Chinese yam for medicine and food, *New Food Industry* 62 (3), 224-226, 2020.3
- 2) Paulino-González Á, Sakagami H, García-Contreras R, Iijima Y and Kobayashi M, Importance of international communication skills ~ Experience and overview of a Mexican student in academic exchange at Meikai University, *New Food Industry* 62 (3), 233-235, 2020.2
- 3) 増田宜子、横瀬敏志、坂上宏、クマザサ抽出液(ササヘルス®)の歯髄細胞へ及ぼす影響について, *New Food* 61 (5): 365-369, 2019.5
- 4) Sakagami H, Katsumata A, Fujiwara S, Den I, Pheko M, Malan SF, Lamson D, Bawa U, Rhoda A, Gottgens P, Osman Y and Ohtomo K, School cafeteria in the world (4) - University of the Western Cape, *New Food Industry Vol. 61 (No. 8)* 637-647, 2019.8
- 5) Doldo T, Ooka T, Takanashi H, Yamamoto N and Sakagami H, School cafeteria in the world (5) - University of Siena (UNISI), *New Food Industry* 62(2), 125-129, 2020.2
- 6) 坂上 宏, いま求められている多様性を考える, *New Food Industry* 62(1): 49-51, 2020.1
- 7) 渡辺秀司、両角旦、高橋慶壮、浜田信城、鈴木光雄、遠山歳三、佐々木悠、岡部葉子、北原文子、坂上宏, 漢方の効能、マスティック樹脂の薬理活性と臨床応用, *New Food Industry* 62(2), 133-137, 2020.2
- 8) 両角旦、渡辺秀司、浜田信城、鈴木光雄、遠山歳三、佐々木悠、鈴木直美、坂上宏, 漢方の効能、細胞傷害性物質の除去およびティートリー精油の細胞傷害性物質の除去およびティートリー精油の配合によるマスティック薬効の

増大の試み, New Food Industry 62 (3): 227-231, 2020.3

- 9) 鈴木光雄、渡辺秀司、遠山歳三、両角旦、坂上宏、佐々木悠、浜田信城, 漢方の効能～漢方薬を用いた歯周病、インプラタイトレスに対する治療方法(鶏血藤配合剤), New Food Industry 61 (11), 865-869, 2019.11
- 10) 鈴木光雄、岡部葉子、渡辺秀司、遠山歳三、両角旦、坂上宏、佐々木悠、浜田信城, 漢方の効能～鶏血藤配合剤による歯肉の炎症に対する改善効果, New Food Industry 61 (12), 941-943, 2019.12
- 11) 佐々木悠、鈴木光雄、岡部葉子、渡辺秀司、遠山歳三、両角旦、坂上宏、浜田信城, 漢方の効能～口腔内外科処置に対する鶏血藤配合剤の利用について, New Food Industry 62(1): 45- 48, 2020.1
- 12) 坂上宏、虻川東嗣、友村美根子、大石隆介、白瀧義明、中谷祥恵、真殿仁美、小川由香里、天野修司、刀祢重信、飯島洋介、肖黎、エンジェル・パウリノ, 組織の活性化と人材の育成? 一分野を超えたコラボの必要性, New Food Industry 61(9): 715-719, 2019.9
- 13) 田川裕也、原八重子、坂上宏、坂下英明, 組織の活性化と人材の育成～部活を通じて学んだリーダーシップの精神, New Food Industry 61 (11), 863-864, 2019.11

D. 学会発表

2. 全国学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 坂上宏, 学問の力で挑む! ダイバーシティな社会, 3 大学連携シンポジウム、城西大学、埼玉, 2019.11

(3) 一般演題

- 1) Sakagami H, Shi H, Uesawa Y, Nagai J, Bandow K, Tomomura A, Tomomura M, Hoshi K, Takao K and Sugita Y, QSAR analysis of tumor-specificity of newly synthesized 3-chromone derivatives against human oral squamous cell carcinoma cell lines, 第93回日本薬理学会年会、パシフィコ横浜, 2020.3
- 2) 友村美根子、坂東健二郎、鈴木龍一郎、坂上宏、友村明人, ゲラニルゲラニオールは骨粗鬆症の進行を抑える, 第42回日本分子生物学会年会、福岡, 2019.12
- 3) 飯島洋介、坂東健二郎、友村明人、日野峻輔、金子貴広、堀江憲夫、坂上宏, セツキシマブの口腔扁平上皮癌細胞、ケラチノサイトに対する選択毒性の評価, 第61回歯科基礎医学会学術大会、東京, 2019.10
- 4) 鈴木龍一郎、田村暢章、坂上宏、竹島浩、水野加寿, 全自動アミノ酸分析計を

用いた唾液及び日本酒の成分分析：水中運動の効果, 第 59 回日本臨床化学会、
仙台, 2019.9

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 永井純子、史海霞、瀬崎夏子、吉田奈央、坂東健二郎、植沢芳広、坂上宏、友村美根子、友村明人、高尾浩一、杉田義昭, 2-Arylazoylchromones と 2-triazolylchromones の定量的構造 - 細胞傷害性相関解析, 第 141 回日本薬理学会関東部会、東京, 2019.10
- 2) 植沢芳広、永井純子、史海霞、坂上宏、友村美根子、友村明人、坂東健二郎、遠藤 早紀、高尾浩一、杉田義昭, 2-スチリルクロモン誘導体の定量的構造 - 細胞傷害性相関解析, 第 141 回日本薬理学会関東部会、東京, 201.10
- 3) 坂上 宏、中谷儀一郎、小川由香里、白戸亮吉、上田大輔、延澤忠真、中谷祥恵、古旗賢二、松田玲於奈、田村暢章、竹島浩, X 線照射誘導性細胞傷害に対する抗酸化剤の保護効果の測定法の検討, 第 140 回日本薬理学会関東部会、東京, 2019.7
- 4) 坂上 宏, 中谷 儀一郎, 小川 由香里, 白戸 亮吉, 上田 大輔, 延澤 忠真, 中谷 祥恵, 古旗 賢二, 松田 玲於奈, 田村 暢章, 刀裨 重信, 坂東 健二郎, 友村 美根子, 友村 明人, 竹島 浩, 鬼頭 慎司”, X線照射誘発性 PC12 神経細胞傷害に及ぼす NGF の保護効果, 第 141 回日本薬理学会関東部会、東京, 2019.10

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 田村暢章(代表), 坂上宏(分担): 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) (17K1205)
水中運動による身体機能の改善と唾液老化マーカーへの影響. 2017.4~2020.3

4. 受託研究費等

- 1) 坂上宏：株式会社大和生物研究所，口内炎に対するクマ笹抽出物の作用機序に関する研究
- 2) 坂上宏：日本三晶製薬株式会社，松の実抽出物の各種抗ウイルス等に及ぼす影響の検討
- 3) 坂上宏：株式会社アピカ・コーポレーション，イヌトウキの薬理作用：イヌトウキの抗 HSV 作用
- 4) 坂上宏：株式会社 a-Lamp、松かさエキス含有試作品の薬理作用